京城日報

九日夕刊

定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢 … 廣告料 … 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○參戰案提出と議會

段總理は七日夜衆議院に向て參戰案提出の通告を發したり同院にては未だ議事日程に上せざるも何時臨時に上議するやも知れず(北京特電)

▲衆議院は八日午後三時より五時迄全院委員會を開き段總理出席の上秘密會として外交上の秘密を語る可し(北京特電)

○段總理宣戰案說明

宣戰同意案は八日衆議院に提出されたるが緊急動議にて日程を變更し先づ段總理に說明を求め討議する事となり三時より秘密會を開き段總理說明中なり出席議員四百二十五名に達す(北京特電)

○民黨の政府破壞運動

民黨の運動は漸次政府破壞運動と化しつゝあり(北京電報)

○段總理辭意を漏らす

段總理は昵近者に語りて曰く既に全力を盡し國會との意志の疏通を圖れり若し國會が政府の苦心を諒せずば否決の事となる可く其時は辭職の一途あるのみと(北京特電)

○露都騷擾は獨探の煽動

政府調查に著手す

數日前露都に起りし重大なる騷擾は或不明の煽動者の所爲なりしこと今や判明するに至れり彼等は兵營內に入り込み職工軍人代表委員會の名義を以て兵士等を煽動し平民政府の爲め危態に瀕せる自由を擁護すと云ふ口實を設け武器を執て立たん事を說けり目擊者の證言に依れば彼等は群集の間に巨額の金圓を撒布し殊に政府を倒せと絕叫せる者には五留より十留を與へたり斯くの如くして彼等の背後に獨探の在る事明白となり政府は本事件の調查を命じたり(露都電報)

○獨軍の露都攻擊計畫

露都軍司令官の警告

露都軍司令官コブネロフ將軍は今回國民に警告を發して曰く獨逸は解氷を俟ちて大軍を露都附近に上陸せしめ一擧首府を衝かんとする計畫あり從つて露國は豫後備隊の組織を改善し國防の準備を整へざる可からず(露都電報)

○浦鹽斯德の有望

北海に於ける獨逸潛航艇の跳梁甚だしく浦鹽斯德港は擴張せられ軍需品輸入に關して一大重要港となる可し多數の專門家は日本及び米國にて鐵道材料購入の爲め浦鹽に向け出發せり(倫敦電報)

○獨飛行機倫敦襲擊

獨逸飛行機數機は倫敦を襲ひ郊外にて爆彈を投下し市民一名即死せり(桑港電報)

○東洋から勞働者五萬人

ストクトン商業會議所は五萬人の東洋勞働者輸入を決議せり(桑港電報)

○ボリビヤも亦斷交

獨逸政府は聲明して曰く獨逸ボリビヤ間の國交斷絕せり(紐育電報)

○獨逸憲法改正內容

伯林來電＝獨逸帝國議會の憲法改正委員會は獨帝の權力を制限する方法を採用するに決し帝國憲法第十七條に依る命令は帝國の名に於て之を發し且つ大宰相の副署を要す其結果は大宰相は帝國議會に對し責任を負ふこと改正する事に決定せられたり(紐育電報)

○マインツ市の食糧暴動

獨逸ヘツセ大公國マインツ市に於て食糧問題の爲め暴動起り軍隊は八名を殺し五百名を捕縛せり(アムステルダム電報)

○施政方針內示

地方長官會議開會前貴衆兩院各派の領袖に對し施政方針を內示すべしと傳へらる(東京電報)

○無所屬團宣言

衆議院議員無所屬團は九日夕を以て宣言書を發表する筈なり(東京電報)

○全國女教員大會

今秋を期し全國女教員大會を東京に開催す可し(東京電報)

○岸本大佐通過

參謀本部附岸本大佐は歸朝の途次九日朝釜山著壹岐丸にて內地へ向へり(釜山特電)

◎總督李王見送

長谷川總督は八日藤波通譯官を昌德宮に遣はし李王殿下の咸興御成りに對して御機嫌麗はしく御旅行あらむことを傳へしめ又た九日は自ら南大門驛に趣き殿下の御出發を御見送り申上げたり

◎面制裁可

朝鮮面制は七日御裁可を經たる旨其の筋に電報あり、同令は全文十四條より成り不日公表す可く引き續き施行規則を發布の筈なり、而して之れが實施期は遲くとも明年度初を越わず或は本年度に其の運に至るやも測られざる可し、但し本令は一般人民に周知せしむるの要あるのみならず法の適用に遺憾なからしめむが爲には面長を教育するの要あるを以て多分近く講習同樣のものを開催授講の上實施さる可し

◎御慰問使入京

內山侍從武官は九日午後七時三十分南大門驛著汽車にて入京、十日朝總督官邸に長谷川總督を訪問し聖旨を傳へたる後豫定の如く同日午前九時三十分南大門驛發汽車にて北鮮に向ふ筈なり

◎軍司令官消息

秋山軍司令官は八日馬山衛戍病院を檢閱し九日晉州へ向へり(馬山特電)

◎司令部通過

步兵第十三旅團司令部は九日午前十一時十六分軍用列車にて龍山驛著同午後一時同驛發北行せり

◎橋口少將入京

步兵第十三旅團長橋口少將は旅團司令部と共に九日午前十一時十六分龍山驛著入京午後九時五十分龍山發汽車にて北行す

◎岸本大佐退京

入京中なりし陸軍參謀本部課長岸本大佐は八日夜南大門驛發汽車にて退京し兒玉少佐は九日午前八時三十分同驛發汽車にて出發せり

◎支那視察團退京

支那直隸省內小學校教員十數名は教育視察の爲め來鮮の途六日夜入京七八兩日は市內各學校を觀察し八日夜南大門驛發汽車にて內地に向へり

◎兵器所長入京

東京砲兵工廠熱田兵器製造所長砲兵中佐近藤兵三郎氏は滿洲よりの歸途八日夜龍山驛著入京十日午後長谷川總督を訪問敬意を表せる上同夜南大門驛發急行列車にて內地に向ふ

◎松永道長官出張

松永京畿道長官は金浦郡內狀況視察の爲九日朝出張したるが同日午後歸任

◎兩港務官退京

海事行政事務打合せのため入京中なる福岡縣港務官明石幸橘兵庫縣港務官藤井治三郎の兩氏は九日午後七時五十分發列車にて退京すべし

◎高野三井店長出張

三井物產京城支店長高野省三氏は八日夜行にて新義州に赴きたるが十日朝歸京すと

◎開城被服廠委員長

開城被服廠期成同盟會委員長白井水城氏は同會の要件を帶び九日朝入京即日退京したり

◎京城若葉會

新社交會の成立

京城に於て實務に携はり實際の活動を爲せる方面の人士を網羅して一の社交團を作らんとの計畫あり事既報の如くなるが愈々八日午後七時より京城ホテルに開かれたる有志相談會に於て會の成立を見るに至れり當日は京龍方面に於ける官吏會社銀行員商店代表者は勿論辯護士醫師宗教家教育家操觚者等殆ど各種の職業に從事せる人士七十餘名出席し先づ食堂を開き天日常次郎氏發起人を代表して開會の趣意を述べ食事を共にし午后各自意見を交換し其の結果會の名稱を京城若葉會と名け三條の規約を決定し幹事若干名の選定其他の事項は發起人に一任する事となり杯を擧げて會の成立を祝し夫れより互に歡談を交へて十時散會したり

◎滿洲視察團員招待

翠雲亭の園遊會

我社主催南北滿洲視察團の一大成功を以て歸來したることは既報の如くなるが在京貴族、實業家、其他各方面の有志發起となり十日午後五時より北部嘉會洞翠雲亭に於て盛大なる園遊會を開催し團員並に幹部の勞を謝し併せて滿洲の土產話を聞くことゝなれるが當日は時間勵行の由なれば定刻前御來會を希望する由尙其發起人は左の如し

子爵 高永喜 金允植 趙重應 李容植
男爵 閔泳綺 朴齊純 朴泳孝
男爵 趙羲淵 閔丙奭 宋秉畯 李完用
侯爵 金用集 金宗漢 趙東潤 李允用 閔泳徽 朴泳孝
子爵 任善準 李恒九 閔丙奭 安永基 鄭彈永 韓相龍
伯爵 李完用 閔泳徽 金聲根
子爵 金思濬 金春熙 根 …

◎大阪米穀商來鮮

大阪の米穀商長尾熊藏、森本靖吉、津森松之助、木谷伊助、陸石某の諸氏は八日朝入港連絡船高麗丸にて來釜釜山米穀輸出商組合に到り同組合役員と會見取引上に關し意見の交換を爲し同日午後七時より釜山側の招待にて同夜十一時發列車にて群山に向け出發せり(釜山)

◎製粉合同

一高野三井店長の斡旋

曾て製粉事業勃興と題し詳報せる如く鮮內の製粉事業は代議士柵瀨軍之佐氏等を中心とし平壤に本社を置かんとする朝鮮製粉會社並に鐵嶺の滿洲製粉會社龍山工場及び京城南大門通り杉浦與作氏の鎭南浦工場と三個の企業生れ杉浦氏は個人經營なるため既に工場の設營に著手し前二者は總督府に對し會社令により其の設立許可の申請中なりしが右三個の製粉事業は何れも其の計畫にて製出せんとする粉の量の一はよく鮮內の需要に應じ得るため若し均しく三個の製粉業開始せられんか必然供給過剩より惹ひて經營難を生じ來る事は瞭らかなる事實にて今日迄企業者間にも若干合同の意志の動けるものあり當局亦三事業の合同を希望しつゝありしが三井物產京城支店長高野省三氏は進んで三企業合同の斡旋に當る事となり八日午後支店樓上に入京中の朝鮮製粉代表者柵瀨軍之佐氏滿洲製粉の中井專務並に杉浦與作の三氏會同

▲併合に關し協定する所あり其の結果各代表者は大體に於て併合に贊意を表せしも唯だ條件付直ちに折合ひを見難き事情あり十日迄各自熟考し同日午後再び三井支店樓上に參會協議をなす事に決定分缺せるが多分三計畫の合一は成立すべしと傳へらる

◎鮮銀總裁動靜

美濃部鮮銀總裁は八日午後六時鎭南浦に來著一泊の上九日午前八時兼二浦に來著、製鐵所を視察、直に船首を廻らして引返し製鐵所に立寄り午後七時二十分發列車にて北行す(鎭南浦)

◎藤山社長來南

朝鮮製糖社長藤山雷太氏は九日午後一時平壤より鎭南浦に來著、製錬所並に築港等を視察し同夜官民十數名を招待して淸宴を張り翌十日午前八時江路兼二浦に出で製鐵所を視察する筈(鎭南浦)

仁川

▲仁川廻著穀數 四月中の仁川廻著穀類は鐵道及び帆船便に依りて昨年に比して著しく增加し鐵道に於ける廻著米は一八、四九一叺中白米五、八八一叺其他の雜穀は糯米一〇五叺小麥一二一一叺大豆一三四叺小豆一、一六〇叺碎米七八六叺黍一八叺と船舶便には玄米一三、五九九叺帆船便にて玄米九八三叺等にして合計三六、七二七叺なりし▲射擊會成績 七日午前八時より文鶴面に於て擧行したる仁川警察署春季實彈射擊大會に於ける成績は一等高田巡查(三十九點)二等許巡查補(三十六點)三等金巡查(二十九點)四等宗巡查補(二十八點)五等大庭巡查(二十八點)にて午後三時終了續いてマラソン競爭及び旗取りをなし同四時散會したり▲郵便振替貯金の拂込 從來仁川に於て郵便振替貯金の拂込み充用し得る小切手は朝鮮銀行仁川支店を支拂人とせるものに限られ又其の受入郵便局も仁川局にのみ限られ居たるが先般來仁川郵便局員を仁川手形交換所に派出することゝなりたる爲め仁川手形交換所組合銀行即ち朝鮮、十八、百三十、商業等各仁川支店を支拂人としたる小切手は之を郵便振替貯金の拂込に充用する事を得るのみならず仁川府內各局所即ち仁川郵便局花町內里及び花房町の各郵便所の何れに於ても郵便振替貯金として之を受入るゝ事となりたるを以て前記の銀行に當座預金を有する向は振替貯金拂込上至極便利となりたる譯なり▲各學校長會議 仁川教育會にては九日午後府廳に於て月並例會を開催したり

大邱

▲大邱客月貿易額 大邱客月中に於ける貿易額を見るに輸移出一萬一千二百七十九圓輸移入三十五萬八千三百三十九圓合計三十六萬九千三百十八圓に達し居れり▲大邱市況活躍 最近米價の昂騰と地價の昂騰は相俟つて農家に餘裕を生せし爲め購買力著しく增加せる結果綿絲は先高を報じ普通雜貨の如きも賣行好く爲に大邱附近は市況頓に活躍を呈するに至れり▲蠶種掃立成績 慶北蠶業講習所に於ては六日を以て原蠶種蟻數一千有餘の掃立を全部終了したるが其後發育頗る良好なりと▲輕鐵期成運動 慶山に於ける輕鐵期成同盟會は六日役員會を催し既設實行委員の外更に十四名の協議員を選び淸川慶山間輕鐵敷地の拂下に關する運動方法の討議を委囑せり▲大邱最近農況 大邱附近は雨量不足の爲め尠からず前途を憂慮されたる麥作は四月下旬に於ける降雨に依り幾分其の發育良好ならしめたりと雖も十分なる能はざるを以て若し此の儘に推移せんか本年の麥作は約一割方減收の見込なりと

□大田にて一筆

五月六日 山崎生

△一筆啓上仕候。扨も此度大田に罷越し候は五日夜の橫瀨新支局長著任披露の宴にて一言の挨拶を申すべき役目を申付かりたる次第に御座候。△當日は恰も端午の節句に當り家庭的に差支多く、且つ雨天なりしにも拘らず官民諸官長、羽生判事を初め當地に於ける有力なる官民約二十名の臨席を得たるは、當支局は申すまでも無之、本社に於ても同慶に光榮とし、感謝の意を表する所に有之候。△然かも席上は極めて打寬ぎ、親しく官民有力者の口より、大田の發展策、繁榮策上より京城日報に對する期待を開陳せられたるは此上もなき好機會にして當夜の催宴の全く徒爾ならざりしを覺ひ申候小生歸社の上は相違なく右の趣社長に傳達可仕候。△但だ大田の元老內藤氏が先約の故を以て臨席なかりしは甚だ遺憾に存じ候ひしも、小生本日訪問、殊に官民有力者が等しく大田の現況を詳に物語るを聞き、大田の發展、繁榮の爲めに思を碎きつゝある模樣を知り、愉快に感じ申候。△內藤氏は儒城溫泉經營の代表者に候。儒城は大田より二里半、俥の便もありとて一浴をすゝめられ候へ共近日中に京城記者團招待の計畫もありとのことゝ故思ひ止り申候。閑靜な佳い處の由に候。頓首

南北滿洲

西海生

日本商品の勢力

▼哈爾賓の輸移入界を一瞥して快感を禁じ能はぬのは日本商品の勢力隆々たる事であつた、戰亂以來從前最も多く入り込みつゝあつた獨逸品並に歐露の商品は殆んど全く跡を絕つた、其處に吾が日本商品は滔々乎として入り込んでゐる

▼主要な輸移入品は棉糸布、皮革、砂糖、メリヤス、諸雜貨の類である、又朝鮮關係品としては新義州安東縣鎭南浦より送る白米並に丁字屋から仕向けつゝある洋服地などもあるが、大なる數量ではないらしい、之等輸移入品の年額は七八千萬留と稱せられてゐる、無論此の中哈爾賓で消費さるゝ物は五割にも達すまい、大部分は歐露並に沿線各地に轉送さるゝ乃ち通過貿易品である、而して諸商品中棉布砂糖の如き纏まつたものは三井、日郵商、小寺等の手を經てゐるが、日用雜貨は多く直取引となつてゐるらしい

▼之等の露國向き商品は日本並に米國品だ、而して日米兩國商品が如何なる割合を示せるかは鳥渡分り難い、何となれば米國品は米國より直送するもの多からず、大部分は一應日本に送り、日本から再び露國に輸出するの經路を辿る故である、然し之れを大別すれば日本品八割米國品二割位らしい、日本品の勢力は之れを戰前に比すると實に素晴らしいものである

▼試みに哈爾賓で露人の經營せる商店に入つて見ると、其の大部分は日本品である事を發見した、現に有名な百貨店チウリン商會の如き、其の綺羅びやかに陳列された各種商品は殆んど日本品だ、唯だ若干露西亞人向きに製造したと云ふ點もあり、又日本から輸出した服地等を露西亞式に仕立てたと云ふもの、如きは、吾々の樣な赤毛布には露國製品かと疑はれるが、よく之れを見ると直ちに其の日本品なる事を發見する

▼哈爾賓市場に於ける日本商品の勢力は全く時局關係に基因したものだが、此の盛況を戰後まで持續する事の出來るか否かは、在哈邦人の間にも色々議論があるやうだ、樂觀者は何しろ數年間日本商品の買込みを續けてゐるのだから露人の嗜好も漸次吾商品に移れりと見るべく、其の根底は戰後と雖、獨逸品などに易々壞されるものでない、無論減るには減らうが確固たる勢力は維持されやうと云つてゐる。

▼戰後に於ける獨逸商品の侵入！こいつは決して輕視が出來ない、第一獨逸品はよく露人の嗜好に投じ、其求むる品を供給する、日本品が露人の嗜好など云ふ事を多く眼中に措かず、內地や支那向などと大した差のない商品を供給するのとは可なり違ふ、第二日本品は驚ろくべき高率の關稅を拂はねばならぬ關係上、獨逸品などに比すると可なり高い、日露の關稅改正と云ふ問題は戰後無論問題になつては來るであらうが、現在から見ると、日本商品の勢力維持に大障碍である

▼平和恢復後、露西亞に於ける日本商品の勢力維持と云ふ事は、今日から朝野共に大に研究を要する點だが、哈市邦人衆口の一致せる點は第一關稅の低下第二露人の嗜好に投ずる事第三露國の商習慣を大に研究する事、假へば戰後廢れてゐるが、六箇月若くは九箇月に亙る長期の信用貸が必らず復活して來るだらうから之等に對し相當適應する方法を執る事等であらうと云ふ

人事消息

▲中村竹藏氏(京城覆審法院檢事長) 十日午前八時三十分南大門驛發渡米
▲松本和雄氏(醫師) 東上中の處八日歸京
▲李王職員一行六十八名 九日朝元山へ
▲本田幸介氏(水原模範場長) 九日午前入京巴城館へ
▲松坂邦太氏(帝國麥酒會社技師) 八日夜入京巴城館へ

□兩陛下 御機嫌麗はしく 袖ヶ崎島津公邸に行幸啓

天皇皇后兩陛下には初夏の日影麗はしき八日午前十時府下大崎町袖ヶ崎島津忠重公新邸に行幸啓あらせられたり公爵邸には奉迎の設備善美を盡し邸前に新設の大絛門には奉迎の大額を掲げ正門に大國旗を交叉し

玄關迄約三町の間兩側に霧島躑躅咲き亂れたる邊りには紅白の幔幕を張り廻し花毛氈を敷き詰めたる玄關御車寄には紫地御紋章を染め拔きたる幔幕を絞りて主人公爵は海軍大尉の正装夫人儷子の方は綠色の洋装を著し松方新内大臣夫妻、東郷、井上、川村各元帥、西郷侯爵、山本、樺山兩伯、黒木、上原、伊集院各陸海軍大將等六十餘名と共に居並び石段上には御先著の山階宮大妃、久邇宮邦義王同妃三殿下の御出迎あり

天皇陛下には大元帥の御軍装に大勳位章を佩せられ皇后陛下には水色の御洋装に白羽毛の御帽子を召され徳川侍從次長、波多野宮相、大森皇后大夫以下供奉し御同列にて十時四十五分著御御氣色麗はしく公爵の御先導にて樓上便殿に入らせられ公爵夫妻以下に拜謁仰付られ數々の献上品御嘉納あり次で階下大廣間の同家寶物八十餘點を天覽に供し正午大食堂に於て公爵夫妻、松方内府夫妻、寺内首相、波多野宮相、以下に御陪食仰付らる御料理は大膳職よりの調進にて御食事後

紅白の躑躅今を盛りの庭園御散策あり小亭に御休憩中樂燒の天覽ありて大廣間に入らせられ薩摩琵琶、柴笛を聞かせられ寺崎廣業以下名家の御前揮毫あり此時別に管絃樂の奏樂ありて御興盡き給はず五時御機嫌いと麗しく還幸仰出されたり(東京特電)

●薫風を衝いて 李王殿下咸興の本宮へ御出發 總督以下官民多數の御見送り

豫て定められたるが如く昌德宮李王殿下には李堈公殿下御帶同咸興本宮稷陵御參拜のため九日午前八時二十五分南大門驛發の臨時特別列車にて奉聞なる咸興に向はれたり此の日

◇殿下には 陸軍大將の正服に大勳位菊花大綬章並びに勳一等旭日大綬章の略章を佩ばれ妃殿下その他近侍の人々李王職員の見送りを受けられつゝ頗る元氣の御樣子にて贊侍尹德榮子陪乘の馬車に召され八時十分昌德宮を御出門、殿下の

◇御馬車に 次いで隨行閔長官、國分次官、李載覺侯その他隨員の乘れる馬車三臺之れに隨ひ昌德宮警察署警部の先驅にて鍾路より南大門通りを八時二十分停車場に御著一瀨驛長、李武官、朴事務官等の先導にて貴賓室に入られ同所にて之れより先き

◇御見送り のため參伺せる李太王御使、長谷川總督、軍司令代理、立花師團長、古海警務總長その他重なる人々に對して御挨拶あり少憩在ちに驛長の案内にて長谷川總督と同列にて歩廊に出でられ豫め設らへられたる特別列車御車室前にて長谷川總督と握手、藤波通譯官を介して御鄭重なる

◇謝辭あり 李堈公閔長官、國分次官、尹贊侍、李載覺侯、李完用伯その他水色の上衣に紫の袴を著けたる女官隨員を隨がへて御乘車あり、やがて發車定刻となれば殿下には車内に御起立、見送りの諸員に對して會釋され薫風を衝いて莽狀未だ新なる

◇北鮮の旅 に向はれたり、此の日殿下御見送り申し上げたる主なる人は内地人側にては長谷川總督以下前記の諸氏を始め關屋學務局長松永道長官、金谷府尹、前田大佐、隈部警務部長その他市内各警察署長、軍及び師團の各幹部將校朝鮮側としては朴泳孝侯、宋秉畯子、趙重應子、趙民熙子、朴箕陽、韓昌洙、趙東潤、李根湘各男爵その他の貴族實業家のすべてを網羅したり

●藤田男爵 一萬圓の寄附

藤田男は道回の大阪東京倉庫大爆發罹災民救助義捐金の内へ金一萬圓を市に寄附せり(大阪特電)

●京都府下の火災

八日午後二時京都府南桑田郡保津村家々出火し卅戸を燒失せり(大阪特電)

李王殿下咸興へ向はせらる—九日朝南大門驛にて—

●獨帝狙擊さる 一名の兇漢の發射せし 三發の彈丸悉く逸る

雜馬來電に依れば獨逸皇帝は伯林市中に自動車を驅らるゝ際一名の兇漢の爲めに狙擊せられしも纔に免れ兇漢は直に逮捕せられたり彈丸二發は自動車の車體に的り一發は逸れたりと(紐育電報)

◎釜山の盧津禪師

過般來滿鮮地方を巡錫中なりし永源寺管長盧津賢金老師は九日午前八時四十分釜山著富平町砂心寺に入り四日午後二時及び翌十日午後二時の二回開化を執行し同夜八時四十分出港の連絡船にて出發博多に赴き同地聖福寺授戒會式に臨む筈なり(釜山特電)

●全南の難破船

木浦署より警備船急派

…後五時頃法聖浦に避難せんと靈光郡弘農面櫻馬里岬附近を航行中俄かに風浪に襲はれ岩角に衝突して船體…屆出に接したる木浦警察署にては即時…船を急派し現場附近を捜索に…

●京城荒しの賊 錠前破りの二鮮童

高陽郡恩平面大甫里生れ京城北米倉町金士敍方止宿前科二犯朴大洪(一七)と西大門町二丁目生れ前科一犯李元圭(一七)の兩名は一獄中惡意となり釋放後共謀し四月二十日以降京城市中を排徊し白晝家人の不在中を見澄まし釘其他を携へ錠前を捻ぢ切りて侵入し左記數戸より多數の金品を窃取し其の都度賍物は支那登州府文登縣生れ京城太平通二丁目居住鐵工職張合昌(五〇)が無代同樣に買取自宅の漬物貨の中に藏匿し又は箱詰となし長谷川町朝鮮ホテル前の空家に隱匿し居りたるものにて此程三名共本町警察署の手に逮捕され取調べの上檢事局に送られたるが兩名は得たる金にて豪遊を極めたるものなりと因みに被害者及び被害額は左の如し

▲西大門町高道宮舍大島現金八圓衣類雜品四十三點約三百圓▲同官舍相原衣類等三十二點百十七圓▲太平通二丁目佐藤衣類等二十點(百十八圓)▲黄金町一丁目山口衣類八點、十八圓(三四)▲竹添町三丁目山口衣類十四點…

●敦賀十八旅團長宅から出火 愛馬二頭燒死

八日午前三時十五分敦賀第十八旅團長永田少將宅より出火し金澤專賣支局敦賀出張所に延燒し家屋二棟土藏二棟全燒土藏一棟半燒し六時鎭火せしが少將の愛馬二頭は燒死せり(大阪特電)

上きい、…中島勝治、高橋良信、同久富、小池しげ、柴山武次郎、岡本末吉、宿田四郎、同乙末、大塚久太郎、同秀子、山路朔… 石ふさ、…信勝、小西辰…、木谷伊助、石井…太郎、… 原支政助、外人二名(三等)三名

●死馬の骨肉から新糧秣 獨逸に於いて目下實驗中

獨逸は目下『フライシフッテルメル』と稱する人造新糧秣の實驗中なり之れは死馬の胃の内より搾取せる未消化の食物及び頭部の骨肉より精製するものなり(倫敦電報)

●海老名牧師渡鮮期

日本基督教界の重鎭海老名彈正氏は内鮮人信徒の懇請に基き神戸の米澤牧師と共に來る二十五日京城著、十日間に亙りて鮮内各地に傳道を試みたる上、更に滿洲に赴く可しと

●取締高田川危篤

大阪相撲協會取締として朝日山の歿後同協會のために盡すところ多かりし高田川危篤に陷れり(大阪特電)

●十弗メタルの主 頭日鮮

童二名が某内地人に金製メタル一個を金十錢にて賣却し居れる所を京城本町警察署の刑事が發見し取調べの結果米國通貨十弗(二十圓相當)金貨にして其れをメタルの如く加工したるものと判明し鮮童等は拾得したりと申立つるより該貨幣は目下同署に保管中なれば心當りは申出づべしと

◎從軍徽章を拾ふ

仁川本町三丁目に於て八日午後五時頃明治三十七八年戰役從軍徽章を拾得し仁川警察署にて保管中なれば紛失者は直ちに屆出づ可しと(仁川)

◎井泉亭の春色

獎忠壇傍百花園の一部の井泉亭の庭内は八重櫻、躑躅、牡丹等今や滿開にして遊戯場あり花の下には見はらしよき座敷もあり月末頃よりは薔の花開くべく家族的遊樂の場所として好ましかる可しと

◎弘法大師正御影供

南山町三丁目千代寺にては例年の通り五月十、十一兩日正御影供執行十日午後八時より説教十一日…

滿洲夜話 嗚呼肅親王 旅順の邸宅

▽一世の偉人 ▲滿朝末期の悲劇=清廷懷慕の人=一世の模範▲

白頭山上の神龍潭から生れたといふ愛親覺羅氏の最後の悲劇はこれを熱河の廢帝に見るよりもヨリ多く旅順の肅親王に悼まれる

◇肅親王の邸は旅順の新市街、坦々たる街路に沿ふた小高き洋風の家がそれである。われ〳〵が何心なく二〇三高地に馬車を軋せつゝあつた時杏の咲いた小高い玄關を海老茶袴の少女が二人その後姿を見せつゝあつた。

◇案内の人は自分の肩をたゝきながら『貴下が見たいといふ、肅親王のお邸は此の家です。』といふ。そして可愛らしい日本風の少女は旅順の日本女學校に通學される二王女であるといふことが解つて二〇三高地からの歸り途、時間が無くてたう〳〵肅親王邸を訪れる宿望が無駄となつた

◇振り返り見る窓際にはまた飛白の羽織の少年を見た——それは矢張り肅親王家の王子であつた。肅親王は今旅順の邸で痛ましき不遇の境涯に蟄してゐられる。折には街の商人の手元まで支那の貴い翡翠の玉や寶石類が現れることがある。心なき商人はこれを肅親王家の王妃の手匣から渡されたなぞと言ひふらしてゐるがそれも強ち根も葉も無いはなしでは無いらしい。

◇あはれ昨日まで支那四百餘州をしろしめす清朝の末、金枝玉葉の御身を榮ねましてまでも此の憂き世渡りの道に係はせらるゝはかなさよ。偉大なる清朝末期の偉人肅親王の生活は徒らに涙多き日東の遊子を泣かしむるのである

◇肅親王は頃日半身不隨の病床に居らるゝ。此の人にして曾ては蒙古の大原野を巡遊し到るところ大清朝の威嚴に伏せしめた貴公子ならんとは轉た今昔の感に堪へざるのである。肅親王の家は曾て滿朝唯一の名家であつた。

◇その祖先第一世肅親王家格は夙に弓箭をとつて武功抜群、滿洲朝廷八大王家の随一にあつた。今旅順に隊せる肅親王も亦清朝末期の大偉人たるに恥ぢぬのである。王が滿廉寡慾にして能く一世の模範となつたことは廣い支那の天地に類稀なることであらう。その滿腔の經綸は行ふに由なかつたけれども篤しく東亞の大局に意を注いで亞細亞人の爲めの亞細亞を建設せんとした努力は日東男子の頗る快とするところであらう

◇昨夏蒙軍の南下と共に宗社黨と肅親王とは多少の色眼鏡で視られた點も無いではなかつた。しかし王によつて支那の風雲が動くかどうかそれは誰れさへも豫測の圏外に落つるといふ。——兎に角此の親日主義の偉人の爲めにその多幸を祈るは旅順訪客誰れしもの願ひであらう(金谷生)

讀者文藝(一等には五十錢の郵券を呈す)

▲物はづけ『無風流なものは』

○花の下の制札(一等) 龍山渋江通 高橋とみ子

▲公園の廣告塔 京城 靜崎白樂天

▲花見に喧嘩 京城 久西家

▲情死のやりそこない 京城 朝■■

▲下戸の醜なし 京城 東海

課題及募集規定

▲(日傘と擬けて) 締切 九日 發表 十一日

▲一口噺(其時々の事) 同 十日 同 十二日

▲… 同 十一日 同 十三日

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は眞名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更にし…一週間以内に到着又は同…

天氣

曇り後晴れ (一、九日午後六時より十日午後六時迄)

五月十日 日出 午前五時二十九分 日沒 午後七時三十三分

商況

東京公債直取引(九日出來値)

銘柄	値
五分利特別	九七、九〇
五分利甲號	—
一回四分	—
二回四分	—
五分(中)	九七、七〇

債券現物特電(九日出來値)

銘柄	値
東京拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮瓦斯	—
南滿鐵道	一六九、五〇

深川在米特電(九日現在高)

種類	現在高
朝鮮米	一八二、八〇九
臺灣米	六三、四〇三
內地米	一、六八一、六六三

東京期米特電(九日前場)

	五月限
寄付	一七、九二
高値	一七、九八
安値	一七、九〇
止め	一七、九八

大阪株式(九日前場)

銘柄	拂込	九日前場
宇治川水	[illegible]	—
京阪電鐵	[illegible]	—
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	—
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪期米特電(九日前場)

當限寄付	一七、〇三
中限寄付	一七、三九
先限寄付	一七、八五
止め	—

下關期米特電(九日前場)

期限	寄付	高値	安値	止め
當限	[illegible]	—	—	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

◎綿糸布相場 大阪

綿糸九日の入電は綿糸現物廿手二百〇三圓双女十手百七十六圓綿布龍シー現物七圓二十五錢九龍七圓二十五錢

◎正米益強し 平澤方面 十四圓十錢と

正米は各地共昨報の如く在米乏しく鼠配益々高模様なり昨報の如く割安地と目されし平澤方面の午後入電は十三圓八十錢の高報を齎らし今朝更に十四圓十錢と報じ當地は此の何れの地方にも手を染め難き事となり精米口は殆ど地廻り物に意を傾け初めたり沿線地方は過日來南方より漸次北方に高氣配を移し…

◎地方高に靡く

現今の相場は既に前の高値を上廻り昂先更に一段と騰の氣勢を示し居れり

◎土管依然拂底

有田… 土管類の需用激增せるに反し荷物乏しくして其後底の出は既に極めて…

◎七月以降一般拂下か

◎常滑地方は好景氣

◎三分の一に過ぎざる 前年に比し約三分の一

◎愈々品拂底

◎滿洲粟更に昂騰 遼陽物方持にて四圓八十五錢

支那粟は産地品薄の爲め相場續いて昂騰九日の入電は遼陽物… 百八十斤入一袋八圓九十錢九圓迄なり

◎洋傘高見越 來年度の騰貴を見越

◎格別影響 五十錢乃至一割

◎和製品代用多く

◎罐詰類一齊高 二割方騰貴

◎海産物の近狀 十圓

◎原料缺不作 大阪相場

◎明太魚支那輸出

◎安東縣方面

◎千瓢立直る

◎京城雜穀

◎南大門の廻穀

西井里	五六叺
西井里	四〇叺
南浦	三五叺
平壤大豆	二五二叺
平澤白米	一六叺

市場零聞

▲保合仲惱む

▲正米界は依然引立

▲前場動かず

仁川期米

▲九日前場 三錢高の入電

筋九十一錢の高移り

十四錢さ更に小高き

大阪四節九

仁川米豆取引所 九日の七月限

前場	平均値段
寄付	十三圓九十七錢
止め	十三圓九十八錢
高値	十三圓九十八錢
安値	十三圓九十六錢
出來高	二萬四千百石
一節	十三圓九十六錢
二節	十三圓九十七錢
三節	十三圓九十六錢
四節	十三圓九十七錢
五節	十三圓九十七錢

賣買取組高

		前日と比較
五月限	二萬四千五百石	二安
六月限	二萬九千九百石	一五高
七月限	三萬七千二百石	四一高

仁川現物市場

釜山穀物(八日)

生魚市場

京城魚市場

釜山水産市場 八日

▲不合格白米

▲強材料の一

▲粟輸入多し 粟の輸入漸増加

米價の高値を維持せ

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電話三〇九・四九二

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

田中金兵衛 電話 長 一六五二八

◉炎々たる猛火を冒して 爆發せる現場を視る

大阪安治川東京倉庫の畔にて 胥 蕊 生

◆炎々たる猛火を望み黒烟を浴びつゝ大慘事の中より一信致候、此の日午後東宮殿下を奈良に迎へ奉り直ちに引返して大阪に歸れる時突然中京倉庫大爆發の報に接し一休するの暇もなく黒烟と火柱を望んで現場に馳せつけ申候、濃霧の罩めたるが如き一帶の烟塵は安治川の兩岸を掩ひ、到る處砂塵降下し、人をして先づ埃と烟りに咽ばしめ申候

◆附近の光景は殆ど筆舌に絶し慘憺たるものにて家屋は傾斜、倒壞、粉碎され水道の鐵管破れ泥水街路に迸り、粉火攢々として降れる處死屍累々として算を亂し、兩斷せる胴、挽がれたる首、挫かれたる手足、其處此處に落ち散り、負傷者は黒焰ばりとなり地に枕し悲鳴をあげて救ひを求むるあり、或は血塗みれとなり右往左往せる、悽慘の光景目もあてられず、酸鼻の極とも申べく阿鼻叫喚の地獄を現出致し候

◆火元の倉庫は唯一塊の團火となり烈々たる焔は風に燃られてそれからそれへと宛ら光線のさし込む如く疾く鋭く燃ゐ移り、火の瀑布、火の海を現じ候、斯くの如き慘禍は地球上の現象中何ものをも比喩すべきものなき如く感ぜられ候

◆死者忽ち五十を數へ傷者は無慮五百に達し申候、僅々數十分の間に之だけの死傷者を出せる如何に慘禍の恣に跳梁せるかを想見するに足り申候、近來稀有の悲慘事に御座候、この慘狀を目擊せるもの火藥にも增して其爆發力の强大に驚駭致し候、損害の程度は千萬圓以上に上るべく、原因は一仲士の燐寸材料鹽酸加里を倉庫內に取落したるによると聞及び候

◆東京倉庫は倉庫界に尤も古き歷史を有し間接國家社會に貢獻したる處も少なからざるべきに惜しむべき事に候、常該罹災者の外保險會社の打擊も可なり强甚なるべく候、之等財貨の亡失は經濟上惜しむべき事に候へども此慘事によりて突然負傷し又は身を亡ぼしたるもの憫むべく惜しむべきには比すべくも候はず、荷主の多くは保險を附しあるを以て多大の損害を招くもの少なかるべく且つ彼れ等の多くは中流以上の富者にて中には所謂成金も含まれ居る事と存候、これに比べて下級勞働民の慘禍を被れるものゝ多きを見ては一掬の涙を禁じ得ざるものに候

◆近時事業界の盛況によつて成れる富豪成金にして一宵一刻の驕遊に又は瞽甞骨董に數萬金を惜まざるものある折柄この慘事に際し傍觀冷視する事なく應急の施設義捐等に投財するは成金税として適當なる美擧とぞんじ候（五日夜）

極東オリンピツク大會

▲一哩を四分五十六秒 日本晴れ第一日＝幾萬の人波

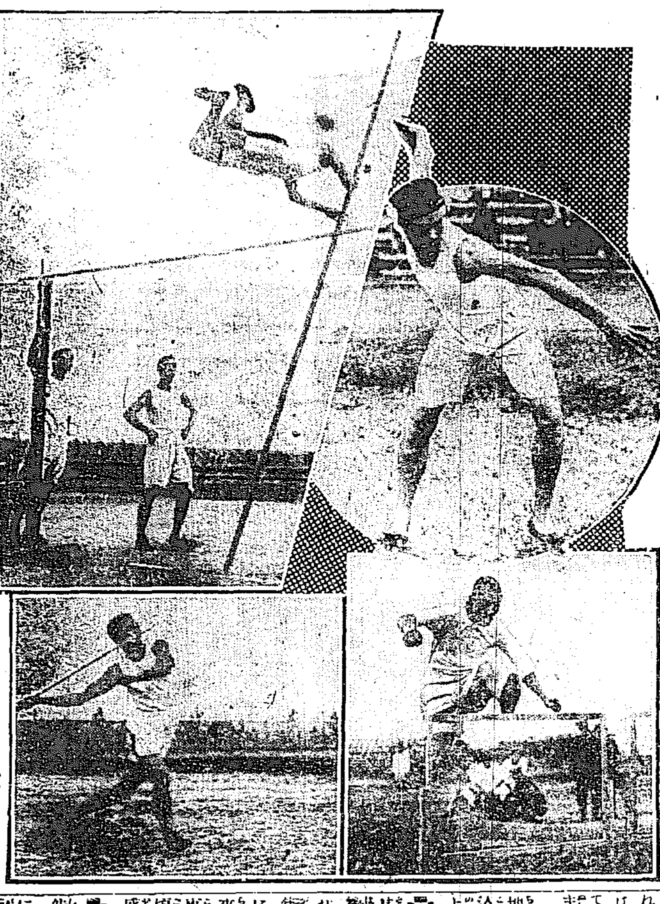
極東健兒が覇を競ふ可き極東オリンピツク大會の第一日は新綠に風光る八日午後二時芝浦會場に其幕を切る此日朝來日本晴れの麗かさに

◆灣海の一碧 目も遙かに凪ぎてスタンドに立て連ねたる日米の旗影飜々たる下を流れ入る幾萬の人波凄じく夥しく斯くて定刻拍手百雷の如き內に劉喨たる進行曲に連れて比律賓選手百三名支那選手九十一名日本選手百四十五名は

◆各共國旗を 先頭とし運動服に凛々しく身を固めて足並勇ましく埒內をエス字形に行進して場の中央に止まれば滿場の喝采を浴びて名譽會頭大隈侯は立ちて開會の辭を陳べ極東選手權大會が東洋人の體育の向上に資する處多きのみならず又國際的遊競に好結果を齎す可きを說き次で加納會長の挨拶彼此

◆兩國選手の 答辭あり競技に入り左の結果を得たるが最後の一哩競爭は四分五十六秒五分の四にて愛知第一中學校多久儀四郎氏が第一著なりき（東京特電）

▲百碼（豫選）第一著ラネタ（比）カタロン（比）サベドラ（比）
▲百二十碼（豫選）第一著ラバヤ（比）張信孚（支）ロザタ（比）
▲二百二十碼第一著佐伯歷（日）カタロン（比）眞殿三三五（日）
▲一哩競爭第一著多久儀四郎（四分五十六秒五分の四）



□極東オリンピツク大會 （右上）圓盤擲選手宮本常選（右下）ハイハードル選手神商福中孝一（左上）棒高飛選手早大三吉友之輔（左下）槍擲選手高師齋藤兼吉

◉鮮人市街の景氣が頗る宜い

仁川に於ける昨今の市況は全體に於て著しく活氣を帯びて來たが就中鮮人側の景氣は例年に比して素晴しいらしい、此れは一両昨年末に於ける

□米大豆の騰貴の結果奧地方面に於ける農民の懷が暖いのと一般に景氣に吊込まれ氣味とが因を爲して居る樣にも思はれるが、事實は幾分此の影響も有らうが、正米期米市場の繁昌が最も深い關係を有つてゐると云ふ事を閑却する事は出來ぬ、或る鮮人有力者の談を聞くに地方から米界の活況を見込んで乘込んで來る者が四月以降頗る多數に上つて、此等の地方人が

□撒く金は太した者である 其れが爲めに、宿屋料理屋遊廓は大繁昌で延いては一般市內にも金が流れ布木商等の取引も增加して鮮人市街の景氣は近年にない程である、殊に好景氣の反影とも見做す可きは從來朝鮮芝居がもの〻一週間打續ける事などは殆んど稀れであつたが、近頃では一箇月打續け然も大入滿員の盛況 遊廓又其通りであるから

□一般が窺はれ やう、云々然し銀行家等の方面では人氣昂進程に根底が無く大勢は依然として季節柄の順調に過ぎぬと言つてゐる（仁川）

◉大邱は藤の花盛

一重も八重も櫻は悉く葉櫻となり桃の花も昔に散り果てた大邱附近は既に藤花の時期となりところ〲紫の浪が漂つて居る、府尹官舍前の松楓の間に年經た藤も美しく咲いた、刀水園のも今が盛りで新綠の間に二箇所の棚架には紫、水際には白の藤が共に濃厚な匂ひを放つて居る、房は小さいが花が大きく色はとりわけ鮮やかなのが刀水園の藤の特徵である鯉や鮒が波紋を畫く池の面に一片二片づゝ散り込む風情は得も言はれない、停車場の構內にある一本は木は可なりに古いやうだが僅かに三房の花をつけたのみ、肥料の走らぬ爲めか但し土地に適せぬのかと驛長は頻りに案じて居た（大邱）

◉商業校運動會

本月二十日頃ならん仁川商業學校（鮮人側）にては本月二十日頃春季運動會を催ほす由運動場は例年朱安驛田或は牛山農園等に於て擧行したるも本年は生徒の希望に依り支那町裏の廣場乃至運動會谷に於て催する筈なりと（仁川）

◉遍照寺正御影供

仁川宮町高野山遍照寺にては來る十一十二兩日間弘法大師正御影供を修行し諸役共說教あり殊に十一日は例年の通り信徒有志の接待ある由（仁川）

◉不思議なる傳說

昔から今に至るも尙ほ靈地と呼びなされて居る大邱の達城公園には朝鮮人間に信ぜらるる不思議な傳說がある、昔この附近に金といふ處女と崔といふ青年があつた、二人はいつしか戀といふ迷ひの夢を辿つて居たが、男女同席を許されぬ古來からの慣習に彼等は何時とて互いに胸中を語らい合ふ機會がなかつた、果ては狂亂心猿の狂ひに狂ひ或る夜密かに人目の垣を遁れ出て日頃の胸中を明し合ふたのが達城山の西麓松林のほとりであつた、そして誰知るまいと思ひの外忽ち後ろに人聲がする、不圖仰ぎ見れば不思議や白髮白衣の老人が松の梢に立つて睨んだ樣こそ、彼等は思はず立ち竦んだと云ふ神秘的な傳說がある。この外この公園內で燃いた惡事なればどんなに巧み人知れずやつてのけても立ちどころに露見するか或は酷い目に遇ふとて鮮人間では互いに警めあつて居る兎にかく達城山には古い〲昔から山の主ともいふべきものが居るさうだ（大邱）

園藝いろ〱

△パイオレットの作り方 俗に菫と云つて近年非常に流行してゐます。その種類も澤山あり、色彩にも濃紫淡紫を初めとし、白、紅などの美しいのがあります。株の形や大きさは何れも野原に咲いてゐる菫と大差はありません。さてパイオレツトの作り方は、パンジー（三色菫）と異つてさう容易くはありません。第一培養土が中々難しく西洋で多く用ひられてゐるのは冬の初めに牛の糞を刈りとつた後、四五寸の厚さに切りとつて、冬中そのまゝ凍らせ害になる種々の病虫を凍死させると同時に土質を十分に風化させ、二月になつたらよく腐つた牛糞を二割位混ぜて堆積し、半月置き位に幾回も切り返してよく混ぜたものを使ふのださうですが、實際がうして造つた土は香菫に限らずカーネーシヨンやその他の西洋草花には適當してゐます土を造へる時期は必ず冬の初めに始めなくても、よく風化させさへすればいゝのです。その他の土では粘力の强い畑土三分に腐葉土三分と砂二分とを混ぜ、それに牛糞二分を混ぜてよく腐熟させたので差支ありません

△筍の茹で方 筍の根本の硬い部分を庖丁で切り捨て皮の上から縱に斜へ庖丁目を入れ此の庖丁目に兩手の拇指を入れて左右に引きますとクルリと一度に皮が剝げます之を水洗ひして縱に二つ位に割り鍋なり釜なりに入れ被ぶる位の水を注し之に米糠一握りを入れ軟かくなる迄茹で〻直ちに水の中へ取り灰汁を抜いてから種々のお料理に使ひます灰汁は成る可く長時間水に入れた方がよく抜けますが先づ二時間以上も浸てばよろしう御座います（米糠を入れますのはエゴ味を去る爲めであります）

藤村貴眞膏は品質優良にして効力確實なれば何れの家庭にも常備する必要あり
貴眞膏 本家藤村
かたのこり、ちゝみ、きりきず
リウマチス其他こりに速効
定價 一個金二錢 徳用一個包金五錢七個包金十錢十五個包金廿錢 キレ缺一個五錢
正本家 藤村壽榮堂 京都市東洞院三條下ル 電話中八四九番 振替大阪七〇九番
◎全國到る所にあり 代理店 京城南大門通 新井藥房
求職の方に好職業を授く 返信料添要 知縣海部郡七寶西澤久仁

頭髮分けには 二葉ポマード
美髮用煉香油 棒チツク水油を要せず思ふ樣に調髮が出來ます
大評判 發賣元 大阪市久寶寺町 角倉支店 小間物化粧品店にあり
定價 17.25.35

軍隊拂下被服類 特別廉價販賣
夏物 メリヤス、シヤツ、サルマタ、ズボン下
メリヤス雜貨卸商 京城北米倉町電話二一二番 村上商店

致富之栞!! 進呈
營業所（堂島濱壱丁目）大阪堂島米穀取引所仲買人 今延商店
電話 北四六八番 北四六九番 北四七〇番 發信略號（イマ） 電信受信略符（オサカイエ三）

金剛山

目まい 立ぐらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥
登錄商標 萬病感應丸
本舗 大阪 正野法橋玄三 江州
販賣店は全國有名各藥店

東洋一 千代ぬれ羽 白毛染
△白毛赤毛でおこまりの方は最も手輕に染められて一番染著の確かな
千代ぬれ羽をお使用なさい
タツタ一度で ぬれ羽
それはく美しい黒髮に手輕く染ります
定價 小二十錢 大三十五錢
△全國藥店化粧品店にあり
本舗東京 服部松榮堂

魚釣具及投網卸問屋
「御申越し次第定價表進呈
□新荷著品揃仕候
京城永樂町二丁目 吉備商會 振替京城四三八番

=タカヂアスターゼ=
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ
本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す
東京室町 三共株式會社

時候の變り目にミツワの藥を御用意
ミツワ家庭藥販賣 朝鮮特約店 熊平支店
長電話六二四番 振替京城二二二番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

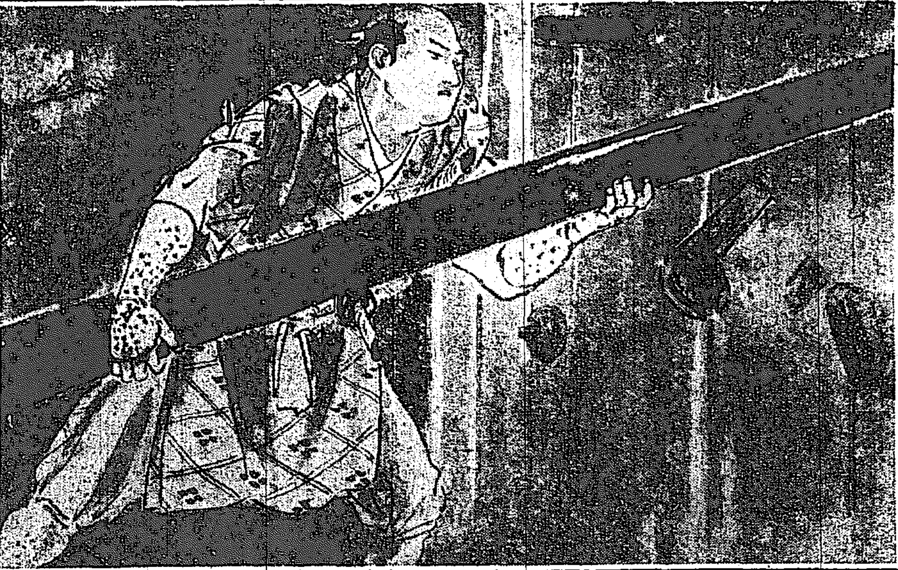
●愈々大提供
五月九日より未曾有の大眞寫
天活數年計畫大撮影 映寫時間三時間
坂田金時 一代記
名優の定評ある井上正夫木下八百子
新派 春之潮 全四卷
▲五月五日午後五時
▲噫大阪安治川の大悲慘事
△實に阿鼻叫喚△實に凄慘見るに不忍△死屍累々として横たはる△宛然噴火山の麓
天活會社の決死撮影隊の努力に依り逸早く
明十日より 黄金館

△皆めん 同十二日 同十三日
△俗謠 同十三日 同十四日
△川柳 同十四日 同十五日
入物は付記するものは同十五日 同十六日
△應募者には五十錢書籍券を呈す（但）何書何號と明記に限る△寬名は（京城）日報編輯局誌者文藝係

明君道中記

第百四十席　田邊南龍口演

石川八左衛門が家光公に伺ふと門を破ぶつても苦しからずとの仰せ故、其儘肌脱ぎとなり上様の召したお乗物の棒を引抜き取直したが釣鐘突きにドン〳〵〳〵と二三度撞いた然しガタリともしない、門内に控へたる榊原の家來共は打笑つて『恐かしき奴もあるものかな、是を千人溜と申す位、一朝事ある時は千人兵卒來たつて打破らんとすれども破るあたはざる大手御門、些細の力に慢じて門を打ち破ぶるか唐土の樊噲か我朝の朝比奈の外にかゝる大門を破ぶるものはあらじと思ひしに此の有様を見れば、眞質大力の聞ゑある石川八左衛門に相違ないかと門内に控へたる者、一同肝を冷して居ります、その中に、ウーンと再たび八左衛門、の膸めたる力に忽ちの間にボキーンと悲しき音がいたしました、是は門が中央より折れ尻壺が抜けた爲で片扉がギーイツと開きました、此時家



破るとは奇怪なり、早々破ぶつて見るが宜い』八『オー、破らんでなんとする』と石川八左衛門是までと心得例の鄕の棒を横に取直して二三度四五度ズシーン〳〵と打ちましたが却々破ることは出來ません、是ではならずと持つたる棒を捨て門の扉に兩手をかけ身體を斜にいたして八左衛門がウーンと總身の力を兩の腕に籠めて押せば、不思議やメリ〳〵〳〵と云ふ音と共に屋根の瓦はバラ〳〵と落ち門は遥にグラ〳〵と動き出しました、門内に控へたる一同の者は大いに愕き、すはや眞實門を破るに相違なし、和田の三男小林の朝比奈は鎌倉合戰の時黑鐵の門を破つたと云ふが、して見れば此の者も此の城の

光公に於いては思はず大聲を發して『家』八左衛門出かした、天晴なる大力なり』とお賞め遊ばした大久保彦左衛門も扇子を拔き『彦』天晴れ〳〵』と石川八左衛門を煽り立たと揺う申し上げましたが何毎石川八左衛門が怪力でも大手の御門を打毀し又尻壺が抜けて門が折れたと申しますがそんな理由はございません、芝居では其中に門が仆れる是を故人市川左團次が得意で演りましたが長谷川の道具方の方で毀れるやうに造らへてある門でありますから直に毀れるが、何うして本物の大手の御門がこんな事で毀れるものではございません、

實は石松宿の本陣に於いて宇都宮の事が判ると直に大急にて早馬を以つて江戸表へ注進をいたした故、江戸御留守居の水戸中納言殿に於いてもすでに御承知になり天下の役人何れも集り評議をいたして居りました處へ、家光公御歸城、依つて直ちに御門を拔いて御入れ申し上げべきでございますが、法は天下の大法、榊原遠江守が御門内にあつて御返答を申し上げたのは『遠』御歸城と云ふ事なれば直に御開門をいたすべきはずなれども未だ明け六ツのお太鼓が渡りませぬ故御刻限外れに御開門する事には相成りません、依つて明け六ツのお太鼓の渡りますまで恐れ入りましたが、それにお控へに預り度い』と申し上げた石川八左衛門是を聞いて『八』仰せ御尤には候へども大切の御乗物御城外には暫時たりとも御止め申すわけには相成らん後刻のお咎めは斯く申す八左衛門が謹で承る故早々御開門あつて上様御案内申し上げて宜しかるべし』とお咎めを八左衛門が受けると申しますから、然らばとあつて御門を拔けて上様を御案内申し上げた、して見れば八左衛門のは御門を破つたのではございません、御法を破つたのでございます

淋尿器科 外科一般 皮膚科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

線香蠟燭 御小賣 吉尾商店 京城本町二丁目（電話一二四八四番）

三

五月十一日九星 西三月廿一日癸丑 木曜 八白 艮納 大安

▲八白 [illegible]… ▲九紫 [illegible]… ▲一白 [illegible]… ▲二黒 [illegible]… ▲三碧 姉妹の中にも行違を生ぜんとす注意 ▲四緑 [illegible]… ▲五黄 [illegible]… ▲六白 [illegible]… ▲七赤 [illegible]…

▲各種萬年筆修繕▼

振替口座京城三〇〇番 京城日報代理部

演藝案内

明治町 電話二六〇 浪花館 近日娘義太夫一座にて開演可仕候

御成町 電話一九一 御成座 △第十九回藝題 小杉天外氏著『悲操』全七場 △二…『冬の夜』全二場 登場俳優（イロハ順）…

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館 五月三日より特別大興行 …

御見落しなく御早來願上候 十日迄日延べ仕候 大正館

家庭悲劇 春の海 大阪朝日新聞連載小説 連日連夜の満員 未曾有の大好評

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 電話二六三七 六五二 黄金館 五月九日より特別大興行 ▲映寫地中海の海岸 ▲滑稽幽靈の出る時 ▲探偵活劇父の秘密 ▲新派春之湖 全四卷 ▲舊劇實説坂田金時一代記 …

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 直營 早川演藝部 有樂館 電話（階上）四九七番（階下）二〇五番 五月十日より引續き特別大興行 …▲忠臣義士實説忠臣藏 全十二卷 …▲有樂館特別大興行▼

御婦人一代のお化粧（其四）

十六七歳頃

花ならば是れからこいふ時代、天の成せる麗質は此の時代から燦然こ煥發するのですが、玉も磨かざれば光なしで、如何なる名玉も人力を加へる必要があるこ同じく、御婦人にも是非お化粧が必要でございます。さりこて其の麗質を發潰すやうな所謂左官屋式の扮粧は甚だ野卑で、飽く迄も生彩を生彩こして發揮するやうに心掛けねばなりません。夫れには、

生地まで白くなる……自然美白粧

クラブ白粉

のお化粧が一番高尚で美しうございますので、良家の令嬢のお化粧こいへばモウクラブ白粉こきまつて居ります。飽迄お化粧下こしては一番よくきくアレ止め保川の美身料クラブ美身クリームが一等でございます。

お化粧の順序 クラブ洗粉 クラブクリーム クラブ白粉 … クラブ煉粒 クラブ粉白粉 美人

開運 かいうん世の中には一生懸命に働いても運の悪い人がある其のやうな人は本會發行の「開運講義録」を讀んで早く成功致富の近道をお進みなさい規則書無代進呈す 東京市小石川區原町五十六番地 大日本開運研究會

ルーデサック 襟形上壹個二十五錢女用一個七拾錢 月經帶一個八拾錢壹圓各種（送料要） 男用一打 四拾錢上製六拾錢 りん病 ばい毒 自宅療法 申込次第進呈 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部

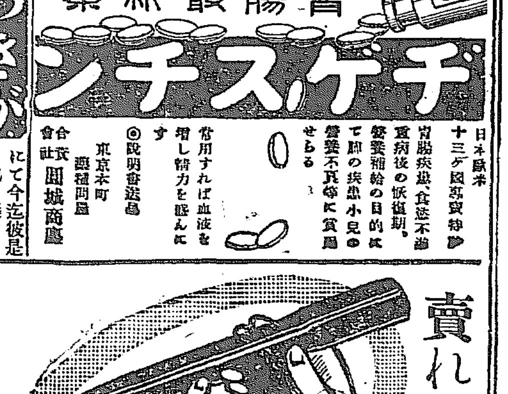
せの低き人 やせた人 体の弱き人 人間の體格は大小二百餘個の骨で組立てられ骨と骨との間には軟骨こ云つて縮めれば縮く伸ばせば伸る軟骨が有る全身の骨が少しづゝでも伸びたならば背が高くなるは何んでもない今回三寸位高くなる體育伸長器が發明せられ東京專賣特許醫科大學に寄贈實驗に供し工學九州醫科大學に寄附…外國製品以上に効力ありて世上の好評を博しつゝあり此際發明の恩恵に浴するため僅かな費用と日數で完全に自宅で出來る療法の詳細圖入説明書を一ヶ年に申込次第無料で秘密郵送す 東京京橋入船町一ノ一 器械療法所

胃腸最新藥 チスゲチン 日本藥米… 胃腸疾患、食慾不振、産病後の恢復期、榮養補給の目的にて卿の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる 常用すれば血液を増し精力を旺んにす ◎説明書進呈 東京本町 總發賣元 合資會社 圓城商會

わきが ファーザーを御用ひあれ藥價六十錢一回にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は 京城黄金町三丁目 電話二九四九 山田文殊堂藥房

髪手入 髪の良き人には愈良く惡き人は一度で忽ち漆の黒さとする 植物性美毛劑加味 ホーカー美髪液 ▲國産純良の脂油を以て特製したる佳品にして、毛髪の色艶發育をよくし、クセ毛を直し、頭垢を去り痒ひ癖にして従來一品もなき優良美毛香油 定價 徳用瓶卅五錢 小瓶廿錢 （送料內地當店負擔、滿鮮卅錢） ホーカー液本舗 東京神田京橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

たんせき良藥 セキドミン 拾錢 貳拾五錢 五拾錢



賣れる！賣れる！！ 飛ぶはご賣れる！！

弊社代理部が幾多の萬年筆中より選拔し數萬の讀者より素晴らしき評判の

最新一千九百十七年式 紐育ビユメル會社製正十四金ペン

パイン萬年筆

定價 標準式萬年筆 金六円八十錢（無飾） 押出式 金五円三十錢（無飾） インキ止式婦人用 金三円八十錢（金飾） 同 短軸紳士用 金四円八十錢（無飾）

發賣元 京城大平通（振替京城三〇〇番） 京城日報社代理部
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店
自然破損は一ヶ年間交換快諾 共同購入は特に割引

大正六年五月十日 THE KEIJO NIPPO 第三千四百六十五號（一）

（明治四十二年九月三十日第三種郵便物認可）

京城日報

五月十日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 郵稅一ケ月金拾五錢 [illegible]

廣告料 [illegible]

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平町一丁目 合資會社 京城日報社 電話 [illegible]

第三版

牛月限 二〇四、〇〇 八月限 二〇四、一〇 九月限 [illegible]

九・後場（[illegible]に軟保手而賣安）

高値 一六、三四 一六、七三 一七、二七 付値 一六、二五 一六、七一 一七、二二 [illegible]

東洋拓殖 大阪商船 日本郵船 同新 [illegible]

二四二、九〇 二三一、一〇 三七七、〇〇 二七七、〇〇

[illegible]後寄十四圓三十九錢東[illegible]前止十五圓九十[illegible]後寄同事[illegible]入電にて當地寄十三圓四十錢より四十二錢引申十三圓四十七錢より五十錢丁度引先十三圓九十七錢と一錢安に寄付たるも買物多くザリ〳〵十四圓〇一錢と上伸しドタ一錢を採み合結局〇一錢と保合の裡に小堅き成行を示して散會

▲後場の手振 後の[illegible]如何[illegible]小堅く[illegible]重なる商內賣方今石[illegible]各千餘石等に對し買方[illegible]五千餘石[illegible]各三千餘石 今[illegible]各千餘石等にて他は小口[illegible]であつた

▲今の商內 後場同店より買りたる玉數二千餘石買たる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲日の商內 後場同店より買りたる玉數三千餘石買たる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲現物界 [illegible]如何あるべき[illegible]何となく[illegible]玄米十三圓五十錢にて二百八十叺九十錢にて四十二叺の二口出來たるのみ跡氣配は安値へなるも安値は賣らず高値は買はずの成行にて見送り居れりとの事

[illegible]リ不知今後の[illegible]

九日の七月限 十三圓九十七錢 十四圓〆一錢 後場 寄 止 [illegible]

[illegible]十四圓丁度〇一錢十四圓丁度〇一錢十四圓丁度〇一錢十四圓丁度〇一錢

値段 [illegible] 十四圓〆 十三圓九十七錢

賣買取組高 五月限 二萬二千九百五十石 六月限 二萬七千八百五十石 七月限 三萬八千[illegible]百五十石

露都より 小田柳翠

露西亞も昨今漸やく春風吹き初めて、雪解の期とはなれり、ネバ大河の如きもぼつ〳〵流氷見ね初めたり、市內の道路又泥濘脛を沒するの有樣にて之加頃來霧深く曇天打續き何となく不快の天候なり。革命亂

▽殉難者の葬儀 殉難者の葬儀はマルソウボーレ練兵場に於て四月五日國葬を以て擧行せられたり、此日市內の交通機關（電車、馬車等）は全部中止せられ總ての官廳、會社商店は業を休みて敬意を表せり、葬列は軍樂隊を先登に軍隊民衆の會葬者に固められ幾百旗の赤旗に圍まれたる殉難者の柩は約一百萬人の會葬者に送られ婦人其三分の二を占めたり。葬列の長さは數十丁或は數百丁に及びたるべく午前八時より午後五時に至るも尚ほ葬列の途中を通過しつゝあるを見たり。此日埋葬せし殉難者は革命派に屬する者のみにて其數百八十を算せり。ペトロパウロスク要塞にては、一埋柩毎に一發の弔砲を發せり。近く此の上には冬宮前の高塔より一倍半高き一大紀念塔建設せられ永く

▽大革命の紀念たるべく其周圍たる練兵場には世界の耳目を驚かすべき大建物を新築し國民大會會場に充つべく目下露國に於ける最も優秀なる建築家美術家詩人などの手により設計中との事なり。新政府の食料問題に對する施政は其後著々改善せられ極力運輸の途を講ずると共に平等を期する爲めパンの如きも從來の砂糖麥粉などと同じく四月六日より愈々切符制度となり一人一日一封度（約百十匁）と定限せられ總ての食料品は價格低減と同時に一定せられ久しく影を見ざりし白パンも此頃漸やく賣出されたり、肉類は從前切符制を用ひし事ある由なれども現在にありては其れ程潤澤ならず切符は廢せられ一週三日間のみ幾分の肉類賣出されたり。這般の革命が軍人、勞働者により決行せられたる爲めにや頃來軍人、勞働者等の

▽鼻息荒き事 夥しく此に反し貴族士官等の權利の頗る減ぜられ使用人には一定の休暇を與へざる可らず。從卒には一定の增給を拂はざる可らずして昔日の如く肩で風切つて橫行する事不可能となれり、頃日或橫町にて兵士に敬禮を强いたる一士官は兵士の爲めに小川の中に投せられたる由なり。また或る橫町にて三名の兵士は折柄通行中なりし一將官に對し其著せし外套肩章に露國の王冠章あるを見其外套を脫ぎ捨てん事を迫れり將官曰く『予は老齡なれば此外套を脫ぐ事を赦せ但し絕對に脫げとならば、予は敢て貴公等に反問せん、貴公等露國紙幣を有するや』兵士『無論有り』とて將官に差示せり、將官はすかさず『此にも

▽王冠の章印刷しあり宜敷須らく燒捨つるの要あり』と兵士始めて首肯し其の儘立別れたりと云ふ蓋し頓智に富める將官と謂つべく妙味ある一笑話ならずや如斯兵士勞働者等と貴族士官等との間は急轉直下極端より極端に變遷せし事とて今後再び此間何等かの反動あるべしと杞憂する者少からず（四月八日發）

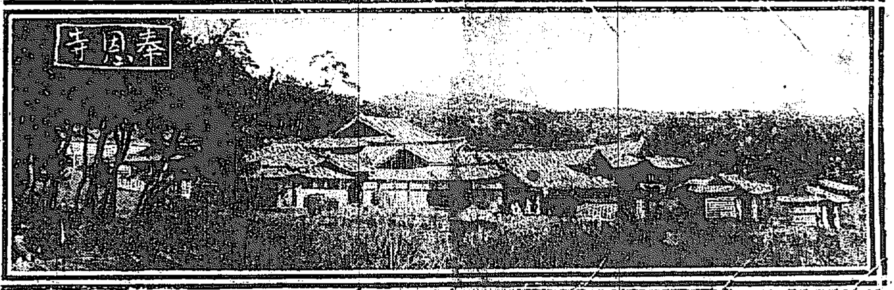
遊支所感

（九）財政及金融 漢城銀行專務 韓相龍氏談

△支那の金融 支那の金融は內國及び外國銀行に於て之を操縱す內國銀行には新舊二式あり、新式は所謂銀行にして銀行業務を營み、中國、交通兩銀行をはじめ其の數本店五十九、此の資本總額五千七百萬圓と注せらる、又た舊式は即ち錢莊及び錢舖にして各地隨所に見受けられ一都市內少きも數十、多きは百個以上を算し細民の金融機關として古來多大の勢力を占む、而して之等新舊諸銀行はまた各自に紙幣を發行し（錢莊錢舖の發行紙幣は恰も朝鮮に於ける於音の如し）居れるが其の紙幣たるや素より一定の準備金あるにあらず、甚だ濫發の傾向あり、要するに不換紙幣とも謂ふ可く各行各自其の相場を異にせり

△兌換券濫發 例せば或銀行は五十萬元の資本を以て五千萬元の紙幣を發行せるより其の相場は同紙幣一元に對し漸く二十三四錢に過ぎざるが如し、又た中國銀行の如きは一時兌換停止の悲境に陷りたりしも外國銀行の援助に依りて地方數個所の支店以外兌換を開始せるに要求者大蟻輻の爲め遂に制限兌換を爲すに到れり。政府關係銀行は故袁世凱帝政運動の際政府の借上金膨脹せし結果忽ち運轉資金の缺乏を訴へし由にて彼でこそ兌換停止の騷ぎを惹起せるものなるが中國並に交通兩銀行に在りては日本其の他外國銀行の援助を受け現に之が整理に努め居れり

△外國諸銀行 外國銀行は主要の都市に設置せられ、各自國の貿易又は自國人の商業を援助し居れり而して之等の諸銀行は支那の金融狀態如何に頓著なく各自國の金融界と自行の狀況とを打算して以て營業せるが故に支那に取りては左して有利の金融機關とは目する能はざるも支那側銀行にして時局其の他の關係に依り金融逼迫を訴ふるが如き場合に在りては相當救濟に應ずるの觀あり之等外國銀行に於ても亦た殆ど各自紙幣を發行せるが何れも發行高を明示せざるを以て其の眞相を知るに由なし、但し在上海外國銀行の兌換券は凡そ二千萬元と見ば大差なかる可し。支那金融市場の中心點は上海にして爲替相場の取極め及び決濟等は勿論其の他金融上の重要事項一として此處より發せざるはなし



◇靖陵宣陵の幽邃には鈴蘭咲亂れ
◇大深林の新綠中には閑古鳥鳴く
◇古典的で優雅なる奉恩寺大法要
◇大湖の如き漢江々上での舟遊び
◇徂春の殿苑たる林檎の花は眞盛

家族的大野遊會

◇次の十三日の日曜日擧行すべし
◇有志連の珍奇な大趣向變裝行列
◇綠林に裳飜す有名な妓生の鞦韆
◇千餘點以上に達する大々的寶探
◇會費は一文も要せず來會を歡迎

南洋見物

（7）新嘉坡と馬來の名果 機關 重喜（投）

港外に檢査を受けたる船は、蒼翠に被はれたるジョホール半島の椰子林を右に見て、靜かに港內に入り、大小の汽船、軍艦の碇泊せる間を縫うて、機檣に橫付けとなつた、此時刳木舟に乘れる馬來人の男女が彼方より一隻、此方より一隻と本船附近に群りあり、錢を海中へ投げよと手眞似で勸める、見れば全身黑く赤裸々で、唯褌だけ一本と同じ樣に締め、一人は赤き布片を頭に捲ふ、試みに十錢又は五錢の銀貨を海中へ投げれば忽ち躍り入つて取つて來る、中にも髮長く窮袖のシャツを著た少女の腰卷を纏ひたるが巧みに身を逆さまにして飛び込む樣は宛ら鮭のやうだ、上陸を待つ間の退屈凌ぎに、交る〳〵錢を投げ、彼等は大分の收入があつたやうに見ねた、僅かに新嘉坡の一奇觀である。俺等の一行は日森洋行員の出迎へを受け、馬車に乘りて、異人種の共進會かと思はるゝ程多人種の織るが如き道路を驅りて海岸通りを行けば、南龍木の並木行儀よく整列し、繁茂せる枝と枝は互ひに交叉して恰も日覆をしたる如く、海風涼しく面を打つて快言はん方なく、やがてビーチロードの日本旅館碩田館に入つた、多人數の一行とて、半數はチビーホテルに移り、俺等三名は、一室に同宿する事にした。當地のホテルとして大なるものはラツフルスホテル、ユーロピアン等にして宿料五弗乃至七弗である、日本旅館は、碩田館、チビーホテル、高山、撫原旅館、都ホテル等があり、何れも設備は和洋折衷で宿料は二弗乃至四弗であるが、目下は『物價騰貴に付宿料組合申合せ二割の値上げ仕候』と掲示されてあつた。久し振りに日本疊の上に胡座を組んで茶を啜る氣持のよさ、女中の配付せる浴衣に着替へて見る、ゥ君と俺とは借用浴衣が申分なく着られたが、ゴブ井下君は體量二十貫さと云ふ大兵肥滿な大男である、腹の大きさは樽ヶ谷の樣に出つ張つて居る爲め旅館の仕入浴衣を著た所、寺子屋のヨダレクリを見るやう誠に滑稽千萬な姿が出來た、ゴブ井下君は農學士である、寫眞機を携帶して到る所、記念撮影をせらるゝに、必ず懷中より細繩を取り出し、二十五呎の距離を測りて撮し給ふ事千篇一律である、之より一行は君に率ゐて二十五呎君を以てした。俺は之を簡略にしてゴブ井下君と書く。

南洋名物の果物は金屬製の盆に山形に盛られてある、マンゴスチンと諸子、サポタ、サラツカ等何れも初見參の珍果である、就中馬來特產の名物だけに、マンゴスチンの味は又格別で、瞬く間に大半は平げてしまつた。

マンゴスチンは馬來印度の特產果實で、瓜哇にてはマンギスと稱し、金絲桃科に屬し、學名『ガーシニア、マンゴスタナ』と云ふ、樹は高さ二丈內外、葉は對生であつて廣楕圓形濃綠色で光澤がある、果皮紫褐色を帶びて厚く、小刀で中央から輪切にすれば、果皮二つに分れる、其上部を取り除けば五個の美はしき雪白色の部分を見る、これ食料とすべき果肉である、之を口に入るれば、肉の部分溶けて種子を殘すのである、其味甘くして軟く、少しく酸味を帶び、極めて上品である。此の果物は採收後一週間の保存は六かしく、遠方に輸送することは絶對に不可能である、交通至便の今日冷藏庫を利用して運ぶとしても、到底原產地の味其儘を試みることは出來ぬ、熱帶果實は多少一種の香味を帶びて居るから、人に依つては初めて試食する時は其美味を解する事か出來ぬのが多いが、此マンゴスチンだけは萬人の賞讃を受くるものであつて、世界果實の大王と激賞されて居る。

ランブータンと云ふ、學名ネヘリウム、ラツパセウムと云ひ、無患樹に屬し茘枝、龍眼等と同屬のもので樹形も又似て居る、果實は外部堅韌の如く、多數の長く軟き突起物あるものと、其突起物短かきものとがある、共に美はしき紅色を呈し、或は黃色種のものもある、果皮の中部を輪切りとすれば、雪白透明の白肉がある、此白肉は種子の外面にある假種皮であつて形は茘枝と同じく其味も又似て居る、甘味強く酸味を帶び極めて佳良である。

ゴブ井下君と同行した爲に植物上の研究は充分に出來る、茲に於て旅は道連れ世は情けとは能く言つたものだ、又も感心仕つた。

南の海路續して
椰子の葉かげの涼しかりける !!

帝國軍艦の雄姿

新嘉坡は千八百十九年、スタンホール、ラツフルス卿の建設する所で、海峽植民地政府の在る所、東洋と西洋との關門又南洋の門戶で商業の一大中心地である。人口は三十五萬人なれども其人種は極めて雜多にして、歐米の白皙人は勿論、亞剌比亞、印度、馬來、支那、日本、暹羅、緬甸等世界のあらゆる異人種の集合地である、隨つて職業及び生活狀態も異つて居る。町の名稱も、ビーチロードあり、ブキツト、テマロードあり、オーチヤードロードあればテクブアランガー、ロードあるなど其名稱も混雜したものである。

新嘉坡は馬來半島に接近した一つの島である長さ二十七哩幅十四哩、面積二百餘方哩であつて、土地低く高山と稱すべきものなく、市街は頗る整頓し、商店の建築も歐洲風にして、赤目なる港くに足るものがある、港の內には壯大なる堡塞があつて、夜中は探海燈を以て、港內船舶の移動を照して嚴重に監視をして居る、目下日本の軍艦爰此地を根據として附近の警戒に任じて居るのは人意を强うする處であつた。

人口約三十萬、日本人の居住するもの男女合計三千百十六人內婦人が一千百六十八人である一年の貿易額六億弗、貨幣は弗を單位として一弗は日本貨幣、一圓二十錢位に相當するのであるから年額七億二千萬圓程の輸出入ある大港として日本には一も之に匹敵る處なき程の盛島地であるが、今より百年前迄は僅かに土人の漁夫が百人餘り住んで居た淋しい部落であつた

日報歌壇

佐々木柚子

二三輪下枝の花なつまみ來ぬ櫻咲きしと君に文書く

かすかにも蛙泣きなり此のゆふべ岡はあぐみて出でこし田の面

楢崎あづま

旅路ゆく君を思ひて春くるゝ遠きみ空を見て居たりけり（紫陽の君へ）

彼方より男重げに荷を負ひてとぼとぼこなたに向ひて來るも

しばらくは重げに負ひて來し男どかと道に荷をおろしけり

歌星

電燈の球とりかへぬ今宵より明るき光り浴ぶるうれしさ

新らしき生活に入る第一步まづ時間割書きて見しかた

內外人の上流社會に喧傳愛賞さるゝ

純國產 牛久赤白葡萄酒

光榮

畏も宮內省御用命の光榮に浴し

同時に 伏見宮 久邇宮 梨本宮 を初め奉り各高貴の御家庭より平素の御料として御買上の榮を蒙る

品質優秀價格低廉なる所以

本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良葡萄の實より搾取せるまゝの生葡萄酒にして品質最も優秀加之運賃關稅等の諸費は一切不用なる爲め價格頗る低廉なり

東京本町 近藤利兵衛

ビールの眞味を解する方は擧つて本品を愛飲せらる

サクラビール

スワン萬年ペン

大阪平野町 スワン出張所

弊店謹製品は從來數度高貴方御用命の光榮に浴したるが今回更らに東京奠都五十年奉祝博覽會に於て特に撰はれて宮內省より御買上の恩命を蒙れり茲に謹而愛用者各位に謹告す

高麗人三エキスの光榮

特價	
四兩入	七十錢
十兩入	一圓二十錢
廿兩入	二圓五十錢

高麗人三本舖 アイゼル東洋總代理店

京城鍾路 宣壽堂 井上藥品部

淋病新藥 ゴノチール

◎極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ局療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ

◎各地有名藥店ニアリ 說明書ハ現品ニ添附ス

大阪市道修町 發賣元 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二〇九一番 振替大阪七五九〇

一容器 三十球入 六十球入 百球入 病院用 五百球入 千球入

宣戰案委員會附議

八日午後衆議院は緊急動議にて對獨宣戰案を議する事となり段總理は各部科員を帶同して議場に臨み支那は國防、人道及び世界の平和を促進するの三點より見て獨逸に宣戰する事に決し約法に從ひ議會に同意を求むるものなりと述べ直ちに投票を以て贊否を決すべしとの說ありしも愼重に取扱ふ爲め全院委員會に附すべしとの動議勝利を占め右議案は十日開會の委員會に附議する筈也(北京特電)

宣戰案と政府不安

通過せざれば段總理辭職か

宣戰案が衆議院秘密會に於て全院委員會附託となりしは形勢政府の爲めに不安なりし故にして若し愈々通過せざれば段總理は辭職の上天津に赴く可し(北京特電)

墺國の對支斷交期

駐支墺國公使は本國政府の訓電を奉じ支獨宣戰後は直ちに墺國は支那に對し國交斷絕を通告す可しと(北京特電)

米國大艦隊建造計畫

獨逸潛水艇の脅威を破る主旨にて

米國大艦隊を建造し獨逸の潛水艇脅威を破るの主旨を以て其の費額十億弗の支出法案近く議會に提出されん同案は眞實已むを得ざる場合には國內の各製鋼工場をして鐵道會社との間に成るもの、外民間一切の製鋼契約を取消さしめ而して其の取消を爲したる當事者には或る場合を限りて賠償を爲す事とし今後二年中に於て鋼製及び木製の船舶五十億噸を建造せん計畫なりと(紐育電報)

米國對佛貸附金支拂

大藏省長官マカーヅ氏は米國より貸與する佛國本月分の經費一億弗の國庫支拂命令書を佛國大使ジュスラン氏に交附せり(紐育電報)

露都靜穩に歸す

地方に反響を來さず

露都は七日初めて靜穩となり何處にも戶外集會成り夜に入りて株式取引所建物內にて第三國民議會議員コラウロフ氏記念會を開き席上外相ミリューコフ氏は會衆の喝采を受け演說して曰く假政府は(此間不明)を以て人々の政治的良心が無政府に打ち勝ちたるものと見做し又市民が聰明にして曖昧無智の力に打ち勝ちたるものと見做すと說きたり今日迄の處首都の騷動が地方に反應を起さしめたる模樣なし(露都電報)

內府兩御用掛

請願令實施以來內大臣府の事務多忙となりし爲め九日左の如く兩御用掛の任命ありたり(東京特電)

正三位勳二等 平山成信

正四位勳二等法學博士 富井政章

內大臣府御用掛被仰付

選擧違犯十名

內務省調査に係る九日現在の選擧法違反に依り目下裁判所に起訴中の當選代議士は左の十名に達せり(東京特電)

三木武吉氏(憲) 山道襄一氏(憲)
古川清氏(中) 菊池良一氏(憲)
白井新太郎氏(中) 鈴木錠藏氏(政)
高木利平氏(憲) 福田辰五郎氏(政)
小池仁郎氏(憲) 我如古樂一郎氏(中)

平沼總長急病

平沼檢事總長は八日午前十一時過に腹痛を覺え二木醫學博士の診察を受けたるに盲腸炎と決定西大久保の自邸に靜養中なり(東京特電)

滿銀運動中止

奉天商業會議所は滿洲銀行設立を政府に再建議す可く滿洲各地團體と協議中の處目下形勢の不利なるより之を中止するに決議し各團體に通告せり(奉天特電)

山縣總監動靜

山縣政務總監は八日午前民政署滿鐵本社を訪問しそれより埠頭檢疫所苦力收容所を視察の上滿鐵本社食堂にて午餐を喫し午後は電車にて沙河口工所を視察し轉じて星ケ浦に赴き星迺家にて滿鐵の晩餐會に臨みたるが九日は午前中小學校工學堂工學校等を午後より中央試驗所を視察それより老虎灘に赴き水產試驗場を參觀せり十日は旅順に赴き先づ中村都督を訪ひそれより民政部要港部要塞司令部を歷訪し各戰跡を巡視したる上白仁民政長官以下主催の晩餐會に臨み同夜旅順に一泊十一日午前八時臨時列車にて大連に引返す豫定也(大連特電)

御慰問使消息

御慰問使內山侍從武官長は九日午後一時卅九分平壤驛出發京城に向ふ驛前には儀丈兵諸列し驛構內には文武官民間有志在鄉軍人赤十字社愛國婦人會員等多數參集見送をなしたるが近來未曾有の盛觀なりき(平壤特電)

軍司令官動靜

秋山軍司令官は九日馬山より晉州に來著官民の出迎へ盛なり(晉州特電)

小野副總裁北行

九日夜釜山發滿鮮直通列車にて日本興業銀行副總裁小野英二郎氏北京に向へり(釜山特電)

內山大將入京

既報の通り內山侍從武官長一行は九日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに投宿したり一行は十日總督を官邸に訪問し聖旨傳達の上直ちに北鮮元山方面へ向け出發の豫定なり

宇佐美長官歸任

總督一行に別れ間島方面視察中なりし宇佐美內務部長官は九日午後十一時四十分南大門驛著列車にて歸任

朝鮮船主便益

海事行政會議の結果

遞信局にては伊藤海事課長外海事課高等官明石福留藤井兵庫兩縣港務官並に釜山及び仁川兩海事出張所長等參集し數日間海事行政に關する會議を開催中の所九日終了したるが其の結果に就き伊藤海事課長は曰く昨年來朝鮮置籍の大型船は漸次其數を增し來れり然るに其等の大型船は朝鮮に置くも都合上運航は內地並に海外に於てなしつゝあるため其の汽船に關する一般の行政事務は一々遞信局に承合し來るか若くば遞信局に出張を請はざる可からず斯くては多くの時日と經費を要し船主の不便不利多ぎより今回遞信局は神戶並に門司の兩港に囑託海事官を置き朝鮮置籍船にして內地に航海上の根據を置くものに關する一切の行政事務を取扱はしむる事となり夫等に關する細目を決定したり而して其の囑託は神戶に港務官及び港務機關技師港務醫官並に港吏門司に港務官及び港吏なるが鮮置籍船主の利便は少なからざるべし

轉入船頻々

關東州より朝鮮に

神戶八馬商會所有關東州置籍船第十六多聞丸(二千四百餘噸)並に臺灣丸(一千八百噸)の兩船は今回仁川に船籍を轉入する事となり過般三日前其の登錄手續きを終へたり尙ほ多聞丸は內地南洋間の航路に從事し臺灣丸は臺灣內地間を航海しつゝありと

產業功勞者表彰

先に京畿道に配與せられたる閑院宮殿下御下賜產業獎勵資金三百八十五圓の利子二十九圓三十六錢を以つて例年道は產業功勞者數名を表彰する事となし居れるが本年度表彰せられたる產業功勞者は染物業金德昌農業寺澤拾三農業金東植農業李丙旭の四氏にして其々其の成績に應ずる標準金額に相當する置時計一個宛を授賞せられたる由なり

組合議員と候補

京城學校組合議員選擧も既に茲一箇月を餘さぬことゝて各方面とも漸次活氣を生じ逐日名乘りを揚ぐる新顏續出しつゝあり、早くより運動に著手せしは既記の如く河村千次郎、安藤靜、古城梅溪の諸氏なるが此の他現在に於て稍旗幟鮮明なるは齋藤定氏大垣丈夫氏の外南大門外より高山孝行總督府會計課屬上野弘一又土木局囑服部豊吉氏も立候補に決せる由

蔘精界の紛紜

如何に片付く乎

朝鮮の人蔘エキスは一昨秋の共進會以來內地方面の需要激進し官製エキスの外京城には蔘精の製造者十數名に上り居れるが最近斯業者間の販賣競爭の結果小紛擾を生じ居れり問題の內容は長谷川町の須藤製藥所が自己商品の賣行きを多からしめんため排他的の廣告手段を執りたるは甚だ不都合なりと云ふにあるもの、如く乃ち須藤對京城製蔘精業者間の確執を來し居れり今双方の云ひ分を摘記すれば左の如し

▲製造業者側曰く 人蔘エキスは最近內地の需要增大し當局に於ても之れを重要物產と認められ今春來京城のエキス製造業者は一團となり重要物產組合令に準じ組合を組織するやう勸告を受けたるに付目下之が手續き中なり之れ組合員相互間に相警しめ蔘精の濫造を防ぎ其の製品の聲價を高からしめんためなり乃ち同業者は此の主旨を體し益々良品を市場に供給するの覺悟を有するの要あるに彼の須藤氏は自己の製品を汎く多く賣らんがため盛んに他の民間製品を貶しつゝあり乃ち其の內地に撒布せし數十萬枚の引札に見るも他の民間製品は水飴を混入せし不良品なりとか自己の製藥所を專賣所と稱し又所主在官時代の制服姿を寫せる小照を掲げ官製品として見紛らはしめる等排他的の文字及び意匠を用ひたるは目下認可申請中の組合規約に悖るのみならず第一其筋の檢査を受け製造販賣する朝鮮蔘精の聲價を毀くる事大なり之予等の氏に反省を促す所以なり又須藤氏が夙に左樣の引札を多數に撒布せし結果京城市中企業者の通信販賣は非常の打擊を受け居れり故に須藤氏が從來の態度を一變すれば事を荒立たす必要なきも然らざれば誹毀として同氏を對手どり損害賠償の民事訴訟を提起すべく又近く認可さるべき蔘精組合より除名するは勿論なり

▲須藤側は曰く 須藤製藥所主は目下內地旅行中にて其代理者は語る、何商賣と云はず競爭は免れず若干一店が繁昌すれば乃ち他店の嫉視を買ふ事往々あり最近の蔘精問題は弊店が多少成績よきため生じたるなるべし弊店が他店製品を誹謗したりと云ふも之れはお互ひ樣にて隨分同業者中辛辣の排他的廣告をなす人あり又弊店が水飴混入の粗品ありと發告せしは事實水飴混入の粗品ありたる爲めにて又斯くては唯蔘精の聲價を毀つくる事を患ひし結果に外ならず聞く所によれば同業諸氏は弊店を除名すべしとの意氣込みの由なれど不認可の組合が法人の働らきをなさんとするは如何損害賠償訴訟を提起する云々の如きは寧ろ眞面目に受取れず尙ほ店名を專賣所云々としたるは不都合なりとの事は或る向きの注意もあり今回廢し合資會社と改むべく目下手續中なりと

外人觀光團來鮮

ジャパンツーリスビューロー扱米國ユニバーシチー旅行團一行は來る二十日朝釜山上陸直ちに乘車同夜入京朝鮮ホテルに投宿し二十一、二の兩日市中を觀光し二十三日朝南大門發同夜新義州に一泊し二十四日朝奉天に向つて出發する豫定なり

小西氏嚴父逝去

朝鮮銀行奉天支店長小西春雄氏の嚴父恭輔翁は八日朝福岡市天神町七十五の自邸にて長逝せるが小西氏は八日京城通過急遽歸福せり

人事消息

▲岩城竹治氏(遞信局副事務官) 九日夜入京前尾旅館へ投宿

▲宮川五郎三郎氏(平壤電氣社長) 同上

▲麻田辰氏(正隆社主) 同上

▲中村檢事長 十日午前八時卅分南大門驛出發京畿道へ

▲若林彌一郎氏(三菱東洋課技師長) 九日夜入

▲本田幸介氏(水原模範場長) 九日夜退京

南言北語

段內閣は對獨國交斷絕迄は容易に片を付けたが愈々宣戰問題となると少なからず行き惱みつた▲段總理は斷然內閣の總辭職を賭して迄も近く議會で爭ふ決心らしい▲其れに付けても支那主戰派の鼻息と來たら其ら大したもので▲之れも一例だが主戰派の首將倪嗣沖君の機關紙が宣布した支那の對獨作戰計要を御紹介申すから驚いては不可ない▲支那は宣戰後成るべく日露と結び其の行動を共にするが肝要である▲米國などは遠くて直接關係がないから拋つて置いても大事ない▲一體協商國が獨逸を屈服し得ぬのは全く人口稀薄で兵力の補充が足らぬからだ▲今度我中國が宣戰したら先づ少なくとも一千萬の兵を出動せねばならぬ▲之れでも未だ不足なら更に增員して好い幾何でもある▲而して此の支那兵は三道に分れて進軍する▲一は長春哈爾賓を經て西比利亞より他の一隊は京張鐵道から蒙古に出で庫倫より進み▲其の他は新疆より露國の東土耳古鐵道で戰線に進む▲斯くして支那兵が百萬以上露西亞の境界に集つた時直ちに獨立作戰に著手する▲其處で露軍は墺太利及び土耳古を攻め支那軍は主として獨逸を攻める▲然し支那は斯の如き援助をするから兵器糧食は戰爭の間丈け協商國から借して呉れねば不可ぬ▲而すると明年三月雪融の頃を見計ひ總攻擊を開始し獨逸全部は三箇月を以て我が有として見せると▲桐野利秋の露西亞乘つ取り策よりも餘つ程上だが之れが主戰派の急先鋒倪嗣沖君の新聞だから一層面白い▲痴人夢を說くなんて笑つては不可ない其の元氣の程は敬服せざるを得ぬ▲之を一部獨帝に送つたら尙ほ更ら面白からう

支那遍歷

中島生

張勳部下の蠻兵

津浦鐵道線路の淮河を橫ぎる所に蚌埠と云ふ驛あり。浦口の北方百哩計、安徽省に於ける最も重要の車站なり。曾ては人煙稀なる一寒村なりしが、鐵道開通以來頓に殷賑に赴むき、將來は一都會を成すべく期待せらる。河南、安徽方面の農產物の淮水を下るもの、皆此地に輻輳し、鐵道の便と相俟つて、現在に於ても貨物集散の狀況活氣を帶ぶ。小生は既に夜に入りて、此處を通りたれば、附近の狀況を窺ふ事能はざりき。唯だ停車場の附近燈光賑かなるを、望み見たるのみ。

津浦鐵道と海蘭鐵道との交叉點にして、支那隨一の馱々ッ子なる張勳將軍の本陣たる徐州府は、夜の十一時過ぎに通り申候。昨年あたり、此の徐州府は、例の徐州會議にて、一時政治上の中心地となるの觀ありき而して張勳の此地に在るが爲めに徐州は支那中にて、最も面倒臭き處となり居り候。蓋に外國人に對して面倒なるのみならず支那人に對しても面倒なる處也。苟くも人の此地に來り府城に入らんとする者は、誰れ彼れの容捨なく、張勳の兵卒に訊問を受け、取調べを受くるといふ始末也。徐州の地、實に張勳王國なり。一にも張勳、二にも張勳、張勳の威勢は大したものに候。

張勳部下の兵士は皆辮髮を垂れ居り候。張勳自身が辮髮を保存せりと云へば、上の好む所下之より甚しきは莫しと云ふ譯かと思はれ候。張勳將軍の人物はさる事乍ら、些と威張り過ぎはせずや。一例を擧ぐれば、彼れは督軍の威力を以て、津浦鐵道を脅かし、其の部下の者は、何時にても無賃乘車の特權を有し居り候。然かも其の特權は鐵道より與へられたるものに非ずして、强迫的に鐵道より特權を奪ひ居るが如し。されば列車內に於ける張勳兵の我儘勝手の振舞は言語同斷也。無賃にて三等に乘る奴が、二等は愚か、一等室に闖入して、大の字になるなど、傍の客が迷惑しやうが、しまいが、一向頓着なく、車掌が注意すれば、喰つてかゝり、下手をやれば、鐵砲でも差し向け兼ねまじき權幕を示し候。張勳は無暗矢鱈に威張る許りが兵の强味とでも思つて居るのか、隨分酷い兵卒を訓練したものに候。然れどもいざ戰爭となる時には、如此奴等が一番眞先きに逃げ出すのではあらざるか。案外肝玉は無いかも知れず候而して張勳閣下の膽玉も、拔かぬ間は大きく見ゆるならむが、お山の大將必ずしも雄將にあらず、一ぺん歐羅巴の戰場に行つて、獨逸兵とでも戰つて見た上でなくば、雄將としての張勳、猛卒としての其の部下の兵士の、絕對的眞價は、一寸わかり申すまじく候。

小生濟南より曲阜に赴く夜行列車中にて、張勳兵の一人が、餘り傍若無人の態度亂暴なるを見、肝癪の虫が動き出して、大喝一聲「やかましいコラッ」と靴で床を踏み鳴らし乍ら叱咤致し候處、少々はブッ〳〵云ひ乍らも、別に鐵砲も向けずに、狸寢入りを致し候。兎に角野蠻なる兵卒どもに候也。

小笠原長生子 序　學習院教授 服部他助新著

恩師乃木院長

四六版四二〇頁乃木大將肖像及著者撮影寫眞版數葉挿入　上製總クロース金文字美本 定價一圓八十錢　並製定價八十五錢　郵稅各八錢

青年子弟の德性涵養の良典範　學校職員育英薰陶の好指針

古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、篤修篤行、萬人齊しく瞻仰景慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀也。著者は十有餘年學習院に教鞭を執る人、殊に乃木大將院長時代に、寄宿寮監督の重任を帶び親しく大將に昵近して、其偉大なる思想人格により、寮生監督の職責を全うし得たる人也。大將薨後追懷景慕禁ずる能はず、當時の觀察感想を記載したる日誌を基礎として、圓熟時代に於ける大將の眞面目を縱橫自在に發揮せるもの即ち本書也。通篇十九章五十九節、其の華族子弟の寮舍生活を詳寫し、乃木大將を中心とせる感化訓育事業を描述し、人道の儀表たる大將の人格を發露して些の遺憾なし。實に乃木大將傳中、別種出色に屬する大文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町二丁目 振替京城二五七三番 大阪屋號　京城本町二丁目 振替京城二四五四番 巖松堂

中川方圓社長岩佐六段兩大家著

置碁互先定石新法 全

和裝箱入美本 價壹圓 送料八錢

本書は方圓社長中川龜三郎六段岩佐銈合計十三段の最新著述にして收むる所の『置碁互先新定石二百八十局』に親切なる解說は眞に定石の革命たる大正式新法也附錄に著者の實戰二十局(精細なる講評)を研究家の好參考とせり

京城 振替二五七三 大阪屋號 電話六八四・二〇九六番

簿記募集

通學生 寄宿生 校外生　大正六年新賀記念優待募集

東京市芝區櫻川町十一番地 私立認可 日本簿記專修學校

美滿津運動具

ローンテニス　ベースボール　フットボール　ヴォレーボール　ヴァイオリンピック其の他總ての運動用具一切の

製造元　東京本郷五丁目 美滿津商店 電下八四五

海川魚御料理　鰻かば燒柳川一切　すつぽん料理

京城旭町一丁目 權平庵 電話二〇四六番

御客樣の御贔負に反かぬ樣にと客室料理萬端に一大改良を加へました是非共御散步旁々御立寄被下まして一度御試しを願ます

中川ユク 謹白

◉一大試錬に遭へる英國民

著しき國民的自覺=露國革命と英國

陸軍大學兵學教官歩兵大佐 岸本鹿太郎氏談

英國より歸朝の途中なる參謀本部員陸軍大學教官岸本大佐は八日午後七時五十分南大門發列車にて東上せり氏の談に曰く

英國民は今や未曾有の試錬に遭遇して居る其の國民的自覺に於て其の政治の內部的革命に於て其の社會政策に於て將た個人的武勇に於て克己忍耐に於て著々として成効を收めて居る、ロイドジョージ氏の擧國一致內閣は組織當時の方針に向つて

◆勇往邁進し◆ 他まで開戰當初の大目的を達する爲めに努力して居る勿論多數國民の間には現內閣に對しても不滿不平を洩して居る者も決して少くない併しながら此の反對の聲を聞けば如何に現內閣が中庸を得たる國民的內閣であるかを占ふ事が能きる、現內閣に對する反對は多年の政權を其の間より奪はれ戰時所得税を重課せられたる

◆貴族階級の◆ 一部と過激なる社會共和黨流の一部とである此の兩極端より反對せられて居る政府は確かに多數政治國民的內閣といふべきである、英國が最も窮して居るは食料問題であるが之れに對しても現政府の處置は大いに其の當を得て食膳制限制、食料品制限販賣等に就ても他の交戰國に見るが如き窮狀と混亂とを暴露した事はなかつた併しながらロイドジョージー氏は屢々

◆國民に警告◆ して『今や恐るべき饑餓は其の黑き大いなる手を擴げて吾國民を捕へんとしつゝあり吾等はナポレオン唱霸當時に幾倍せる飢渴に遭遇せんと爲しつゝあり我等は國內に於て我等の食を得ざるべからず』と熱誠なる氏の憂國の聲はよく國民全般に徹底し從來牧場として荒蕪に歸したる土地は著々開墾せられて畑地となり或都市の如きは公園まで開拓されて

◆小麥馬鈴薯◆ を栽培せらるゝに至つた開戰前までは廣大なる植民から輸入される穀物が甚だ低廉であつた爲めに十九世紀中頃まで耕されて居つた、英國の田園は殆ど悉く牧場と化し土地は多く貴族富豪に權併せられて居つたが最近食料品自給の覺醒と共に貴族は其の所有地を廉價に貸付け上下力を併せて農耕に從ふて居る更に英國の爲めに喜ぶべき現象は近來著しく

◆帝國主義の◆ 色彩を帶び來り劇場に於ても忠君愛國の演劇好評を博し活動寫眞の如きも映畫の間に皇帝の肖像を映出し觀覽者は非常の喝采を爲し最高の敬意を表しつゝあり

▲革命後の露國 は未だ全く秩序恢復せりと云ふに非らざるも革命當初豫期したる到著點に達するであろうと思はれる露國の革命は實に英國現政府の成立と共に成立したものと云ふべきであろう、露國に於ける

□革命亂の勃發 は英國上下の豫知して居たる處であつたその證據には革命前まで甚だ過敏に相場の高低ありたる在英國の露貨は露都革命亂の急報ありたる當日も敢て下落せず却つて幾分の高騰を示したり而して英國の智識階級は露國革命が

□其の目的を達し て鎭靜に歸し英國は從來の如き頼り少き味方に代りて新らしく自覺したる眞の味方を得るならんと慶賀し合ひたり英國は國老及國民生活を忘却して漸く個人的にのみ生きんとする傾向顯著なりしが今回の大戰は此の老强國の國民をして深刻なる國民的自覺を復活せしめたり

◉日章旗飜る沿道を

—李王殿下御一行列車の北行—

李王家發祥の地たる咸鏡南道咸興に進かせらるゝ李王殿下の特別列車は今春風一路京元線の洗浦高原を通過中なり海拔二千尺の高原には所々の山巓殘雪を見れども

◘新綠の裝ひ 瑞々しくして殿下は車中殊の外感興を催されつゝあり途中は午前八時五十分淸凉里に於て洪陵の祭官の送迎を受けたるを始めとし沿線の各處人出盛にして新綠の村には日章旗の飜れるを見る汽車は五時

◘三防の境に 入れば折から細雨あり洗浦驛よりは申咸南道長官以下の出迎へあり咸永間の自動車は降雨の爲め困難なれば或は元山滯在の延期を見るやも知れずと云ふ今三防の景は意外に躍りつゝ過ぎつゝあり(九日午後二時五分京元線高山驛にて發電)

—接見式を行はせらる— 可し式場は府廳樓上に準備され又高齡者には御下賜品ある可し尙ほ都合によりては釋王寺を先きにせらるゝやも知れず京元線の汽車の旅に殿下には些の御疲勞も感ぜられず幾んど元山まで歡談されたるは殊の外の御元氣なりとて國分次官等喜色滿面の體にて語れり(九日午後七時三十分元山にて金谷特派員發電)

▲黃色の輿に召されて

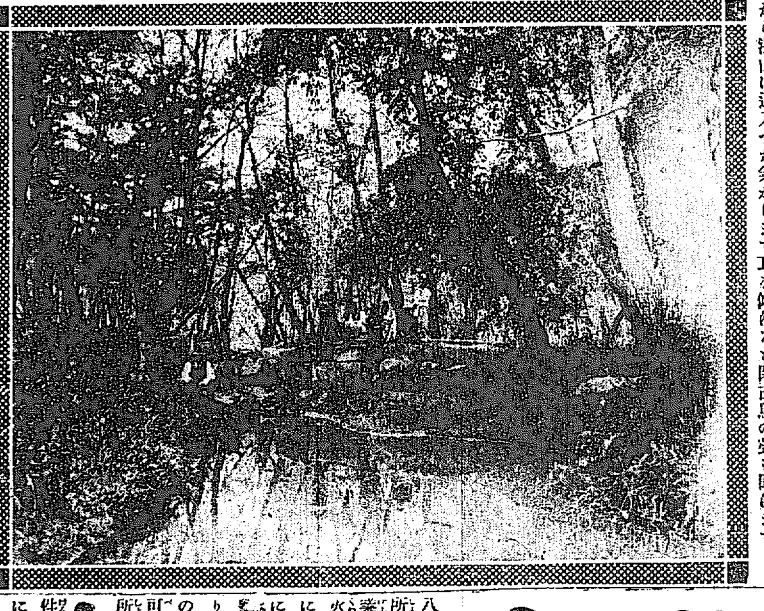
▽幾多女官の長列を隨へられ△

李王殿下の特別列車は九日午後二時五十五分元山著、驛には小川咸南警務部長、村地元山府尹を始め官民多數の出迎あり又殊に守備隊及び學校生徒內鮮人の奉迎者堵を爲し

=沿道壯觀を極めたり=

殿下は驛より黃色の輿に召され幾多女官の腕車の長列を隨へさせられつゝ本町通春日町府尹官舍に入られたるが折柄永興灣の眞帆片帆は紺碧の海に繪の如く梨花ほろゝ散る庭前を

=いとも感興深く御覽= ありたり殿下は十日早朝元山發一路咸興に向はせらるゝ筈なりしも沿道は一昨日以來の豪雨の爲め自動車の運轉不可能となりたれば十日は元山御滯在午前十一時より官民の重立ちたる者に對し



◇大野遊會畫報

大深林中の淸潭

之れは宣陵へ道入る陵前の石橋造の淸潭であります松林の間に混じつた千樹の新綠名も知られ白き花の咲き亂れた古木其の下の潤らかな潭見るから深山に這入つた氣がします耳を傾けると閑古鳥の聲も聞けます

◉遭難船を救ふ

仁川花房町一丁目福田翟吉方宮城丸船長松岡金三(二七)は八日午前六時三十分頃敷島海岸より港內に向け航行途中砂島二哩沖合に於て全羅南道濟州郡孫贊五(三七)外二名の者が海中に於て苦悶し居るを救助し水上警察に屆出でたるが孫贊五等の遭難の原因はコークス三十四叺竹三把積載去る七日午後六時安山に向け航行途中天候險惡なりし爲め文鶴面王蓮里沖に假泊し八日午前五時頃仁川に向け歸航途中沙島沖合に於て激浪の爲め海水侵入遂ひに沈沒漂流したる者なりと(仁川)

◉奉天の慘殺犯人は死刑

過般奉天新市街の河本一家四人を慘殺せし同家支那人ボーイは其後張作霖督軍が同人の勇氣を愛して助命する等の風說ありて邦人間の憤慨一方ならざりしが處八日午後二時我警察立會の上死刑に處せられたり(奉天特電)

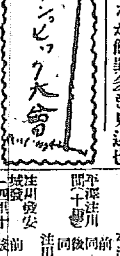
◉五百餘圓橫領

大邱榮町居住原籍長崎縣下縣郡鷄知村生れの島雄潛吉(四五)は達城郡壽城面鳳德洞鄭富烈より委任され鄭より大邱東城町三丁目徐內五に對する貸金の取立に從事中本年の三月九日より同月二十六日までの間に徐より受取りたる千八百圓中五百圓六十六錢を橫領費消したる事發覺して訴へられ爾來大邱地方法院檢事局にて取調中なりし處愈々取調べ了り公判に附せられたるが同人は去る大正三年中橫領罪に依り大邱覆審法院にて懲役四月に處せられ二年間刑の執行を猶豫せられたるものなりと

◉鮮人俳優の賊

平南大同郡大同面船橋里生れ姜熙敬(二〇)といふ前科二犯の曲者は去る三月二十八日鮮人新派劇に混りて鎭南浦に至り久原精煉所の人夫を志願しだるも勞働に堪へずとて半日にして逃走し四月五日龍井町小池トメ方の不在中に忍び入り金品五點を窃取し翌廿六日は末廣某方の不在を窺ひ衣類外數點を窃取し品物は志水質屋に曲げて酒色に費し居たるを廿九日後浦里街路を徘徊中鎭南浦署の手に取押へられ檢事局に送られたるが餘罪多き見込也

▲觀衆熱狂 …第二日…



極東選手權大會第二日なる九日は曉來の降雨名殘り無く晴て芝浦十萬坪の會場を吹き渡る風麗かに午後二時よりは淳宮、高松宮兩殿下の三好御傳育官長以下を隨へさせられて台覽し給ふあり熱狂せる幾萬の觀衆の歡呼の裡に必死の競技勇ましく左の結果を得たり(東京特電)

▲一哩マラソン競走、第一著(五分五十七秒五分ノ一)橋本源市(松江靑年會)
▲百二十碼ハイハードル競走、第一著(十七秒)ラバヤ(比)
▲二百二十碼ハイハードル競走、第一著(二十三秒五分ノ一)カタロン(比)
▲ヴォレーボール、二十一呎(支那人)對四呎(日本人)にて支那人の勝
▲フートボール、五(支那人)對零(日本人)にて支那人の勝
▲庭球、比律賓對支那にて支那の勝
▲野球、比律賓對日本にて四對三にて日本を代表する早稻田大學選手の勝

◉大連大火

損害約八萬圓

八日午後八時過ぎ大連市中目抜の塲所たる監部通り一丁目露西亞人仲介業エルカラミユツの二階より出火し火焰は東隣り遞信管理局振替貯金部に移り一方日本電氣會社其他の建物に延燒し更らに吉野町に移り質屋女工其他を燒き十時前辛うじて鎭火せり燒失家一八軒損害高約三萬圓其他の損害を合すれば約七八萬圓に上る可き見込みなり原因は不明なるが塲所柄とて非常の混雜なり(大連特電)

◉談合事件判決日

談合事件上告判決は十日午前十時高等法院に於て裁判長渡邊院長より申渡しある筈

◉高木氏の美擧

本町一丁目高木德彌氏は今回京城學校組合へ基本金として金百圓を寄附し又幼稚園生徒百三十名へ菓子一袋宛寄贈す

◉送電中止

京城電氣會社にては電線工事施行の爲め十三日(第二日曜日)消燈後より正午迄電力の供給を中止する由に付電力使用者は豫め注意せられたしと

◉平澤洼川間自動車開始

安城自動車營業所にては從來平澤安城間を運轉しつゝありしが今回更に平澤洼川間を延長し左の通り營業を開始したりと

運轉時間 平澤發 洼川發 安城發 平澤著 洼川著 安城著
哩程 平澤洼川間(十哩) 洼川安城間(十四哩十七丁)
賃金 平澤洼川間 平澤安城間 [illegible]

◉龍山家族的野遊會

十日は私立新龍山幼稚園創立記念日なるを以て同園及び信用組合實業親和會の三團體聯合して同日午前十時より孝昌園に於て家族的野遊會を催ほす由なれば定めし賑はふなる可し

◉洋畫作品展覽會

洋畫家山[illegible]本協進會は例年春期に於て會員の作品を展覽に供し一般公衆の批評を仰ぐ事となり居れるが本年は會員も多數にて作品點數も百三十點以上なる由期日は來る十二、十三の兩日會場は京城ホテル大食堂なりと

◉喜多流謠曲會

京城喜多會[illegible]部にては前師範友枝敏樹氏歸國後久しく師範を缺ぎたりしが今般東京家元より特に近藤[illegible]利氏を派遣せられたり同氏は未だ若年なれ共謠曲仕舞等に堪能にして弘く同好者に喜多流謠曲の指南を爲すべしといふ猶同支部にては國分[illegible]我共の他幹部の諸氏發起となり來る十三日(日曜日)午後一時より本町一丁目朝日[illegible]に於て同氏歡迎會を兼ね春季大會を催し左の番組の通り素謠仕舞等數番ある筈にて同志の來聽を歡迎することとなり

▲素謠▲鞍馬[illegible](村尾氏三宅氏)▲小袖曾我(母永島氏、五郞鈴木氏、十郞船井氏)▲草紙洗小町(子曾我)[illegible]▲飛鳥川(柴田氏、[illegible])▲羽衣[illegible]▲橋辨慶[illegible]

◉南大門喫茶店休業

南大門停車場構內喫茶店は內部壁板及び器物修繕整理のため十日より十五日迄六日間休業する由なり

◉安治川爆發

黃金館にては九日より新寫眞と差替へたるが其の主なるものは左の如くにてなほ最近全國の耳目を聳動せしめたる大阪築港大阪安治川東京倉庫大阪支店苫分倉庫の大爆發の實況を撮影せる新寫眞を十日より影寫する由

△滑稽探偵寫眞の出る時△探偵活劇火の秘密△新派劇恋の渦全四卷△舊劇坂田金時一代記

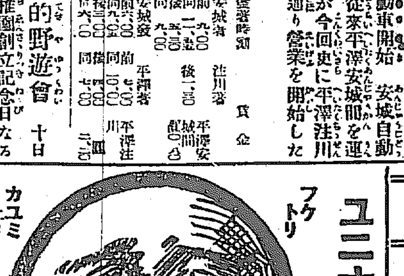
えんげい

◉忠臣藏

有樂館にては引續き特別興行として十二卷物の大寫眞『實說忠臣藏』を演ずる由なるが表裏三百五十場及び俳優は市川團右衞門一派出演する由にて頗る興味ある大寫眞なりといふ然して前週より出演せる例のセルビヤ女優ルボーフ出演の喜劇『鏡の蔭』及びダンスある由

購買入札
美濃白紙六拾萬枚外拾五點右購買ス詳細ハ大正六年五月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

うなぎ
目下上物澤山入荷致居候間本年も倍舊の御用命奉待入候
陸軍御用達 川魚鳥類問屋 宇田商店
龍山元町四丁目漢江河岸 電話二一五番



京日案內
普通一回前金五十錢 番外一回前金一圓(號名一個毎に金額增し)
▲申込後中途解約中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
社員大募集 經驗有無を不問本人來談 特に高給支拂す 共保生命保險株式會社京城出張所 京城黃金町二 88
下宿屋至急讓渡したし 官衙を控へ最も有望 近邊に澤山(姓名在社) 89
配達人數名至急募集希望者本人來談あれ但市中確實なる保證人を要す 明治町二丁目 町田新聞部 84
店員募集 年齡十六七歲迄で市內に保證人を要し本人來談に限る 龍山元町二丁目 東屋洋品店 77
店員入用 本人來談あれ 京城本町三丁目 佐藤金物店 87
灸按摩治療 マツサージ 本町一丁目龜屋橫入 富分半額 飯田水車製造所 電一三二六 狩野 14
番外
▼古本 ▼古樂器 買受と立替 本町ウツボヤ書店 電三三七 振三三三 964
萬年筆……修繕と販賣は最も信用のある 本町ウツボヤ書店 電二五二七 振替二貳二參 76
代診生採用 希望者は履歴書及寫眞送附ありたし 平壤府泉町 齋藤內科小兒科病院 83
鮮人龜吉事 成俊永 儀不都合の廉有之今般解雇致候に付自今弊店と一切關係無之此段廣告す ▲南大門通三丁目 ▲古鐵諸機械商 廣京城支店 85
はねつぎ さくじき うちみ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 47
多利 ゴム風船寶月サック卸商 小賣は三倍以上五倍利す 當店特色は薄利多賣定價表無料送 京城太平通二 電話二六〇六番 太陽ゴム商會 48
乘合 間自動車 京城驛前八時 春川驛前八時 賃金片道四圓 京城水標橋通り 電話二一三八番 京春自動車商會 支配人 松田壽男 70

忠臣義士の仇討
實說忠臣藏
全十二卷 表裏百廿段返し

寫眞長尺に付正六時半第一卷映寫
二萬圓の撮影費を投じたる未曾有の大史劇
⊠日東帝國の精華
⊠武士道の典型

尊嚴義太夫竹本糸光出語

あら樂し思は晴るゝ身は捨る浮世の雲にかゝる雲なし
年の瀨や水の流れと人の身は明日待たるゝその寶船

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
早川演藝部直營 有樂館 電話(階上)五九七番 (階下)二〇五番

▲人氣湧くが如き大餘興!! 藝題差替

喜劇 ダンス『鏡の蔭』
ルボールフー孃 出演

當る五月十日より引續き特別大興行

田魚類[illegible]市場に於ける四月中の營業成績を聞くに鮮魚を收獲びたる數量は二千五百八十九貫[illegible]あるべし[illegible]田に於け[illegible]醬油味噌の移出高は一箇年約百六十[illegible]位に過ぎざりしが近來[illegible]錢より約三割五步減なりと▲米穀檢[illegible]可ある筈なるが輕減額は平均普通貨[illegible]以下格二百六十三叺一月以降累計千六百三十三叺なるが近來停滯貨物及[illegible]

[illegible]に依り[illegible]會の辭、勅語捧讀、庶務會計報告、役員の改選ありて來賓小寺中佐、公[illegible]

[illegible]付き四日午後二時より臨時總會を開き改選の結果取締役社長に山口太兵[illegible]

[illegible]大田錦山間の三等道路改修工事に[illegible]手來る[illegible]工事現場監督として忠淸南道廳より[illegible]

◉豺一頭の捕獲 京畿道富川[illegible]李興泰(三七)は六日眼谷山にて[illegible]署に屆出でたり

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百六十 最善の努力『卅二』の二

『でもお二人共に御病氣だと云ふお話ではありませんか。どつかり褥に就いてお在なんですかね。』

幸三郎は、強ひて訊ねるのもわるいとは思つたが、その儘指を啣へて引込むも變なやうな氣が爲たので、押切つて問ひ直した。

『はい……それ程でも御座いませんやうですけれども……。』と、小間使は、一向に不得要領であつた。

『一體、御前の方は什う云ふ風の御病氣なんです。別段お醫者なぞの出入りする容子も見受けんやうぢやありませんか。』

『……左樣なんで御座いますの。御病氣も幾分御病氣なんで御座いますけれども……あの、實は何か大きな御心配事がお有り遊ばして大變鬱ぎ込んでお在遊ばすんで御座います。』

小間使も、義理に詰つて、漸く少しばかり話の小口を切りかけたのである。

『ヘツ、大きな御心配事とは…？』

『さあ、その事までは妾どもには更に分りかねますですが、ほんのちらりと聞き込みました所では、何でも桑原さんと共同でお遣り遊ばした鑛山の會刷とやらが、大變な御損毛だとか云ふ事で、此處當分の内は、一切御不在の體に言ひ拵へて、如何なるお方がお見えになつても悉皆お留守を申して居るんで御座いますの。』

『成程、然う云ふ御事情があるんですかね。』

幸三郎は道理こそと初めて少しは合點が行つたのであるが、それにしても、袖子新夫人までが主人公と同じやうに留守を使つて居らるゝのでもあるまいがと思つた。

『で、新奥樣は、什うなすつてらつしやるんですかね。僕が今度此方へ伺ふやうになつてから、もう五六日になるけれども、お姿はおろか、お咳の聲も聞いた事がないやうですから、心配でならないんです。』

『それはその筈で御座いますの。あの……先生、妾がお喋りしたと仰有られては困りますけれども……本統の事を申しますと、彼のお方はまだ正式の奥樣にお成りになつた譯でもないのに……御前樣の御旅行中に何か……御前樣のお氣に濟まぬやうな行ひがお有り遊ばしたとかで、たしか御前樣のお歸りになつた翌々日かに何方へかお預けられになつたらしい御容子で御座いますの。』

小間使は、斯う言ひながらも、頻りと四邊を氣遣ふらしい氣色で、怖々ながら坐を起ちかゝつた。

『そりや意外千萬の事を聞くもんですね。では彼のお方は、もう屋敷の内には在つしやらないんですねッ。』

眞個意外千萬に違ひないのである。殊に幸三郎の神經にぎきんと應へたのは、彼の花見臺の一件なのである。御前の留守中に起つた事件で、御前の氣に濟まぬ行ひがあつたと爲れば、恐くは運轉手の塚本に發見せられた彼の事件より外にはないやうである。が、それに爲ては、その相手方なる自分に對して、何事もなく舊通りに斯うして畵を描かせつゝあるのが、第一不審の次第である。幸三郎は、詰しさの餘り、罪だとは思つたが、起ちかけた小間使の袂を輕く控へて

『序だからお訊きするんだが、それであの運轉手の塚本とか云ふ男は、相變らず無事にお屋敷に勤めとるんですかね。』

『いゑ、今申す通りの次第で、當分御外出の御用がないからと仰有つて、一時お暇が出ましたやうで御座いますの。』

『然うですか、彼の男もそれでは、何時からかお屋敷には居らんのですね。』

『自動車丈があの、お小屋の中に大きな缺伸を爲とりますんで御座いますわ。先生、妾、彼方に致しかけた御用が御座いますんですから、後ほどに又……。』と、小間使は、出來る丈多くを語らぬやうにして、忙しさうに逃げ去つて了つた。

幸三郎は、今少しく立ち入つた事實の眞相を聞き出したかつたが、相手が逃げ去つたのでもう仕方がなかつた。併し、邸内一般の空氣が何處となく沈み返つて居る理由は、先づ概略想知する事が出來得た譯であつた。

―男爵閣下が成金桑原と聯合した事業の大失敗―是は正しく有り得べき事なのである。袖子新夫人の遠け―是も嘘でない事は分つた。運轉手塚本のお暇―是も勿論自然の結果に違ひないのだ。その中に在て、一番無用の……寧ろ袖子新夫人達の第一原因を作つた發當人とも見做さるべき自分丈が、依然として此の儘放任して置かれてあるのは、恰度俎の上に載せられてある魚のやうな氣味わるさではないか？幸三郎は不審の極反つて身の恐しさを感じ出したのである。

京城本町二丁目電話六一四番 メリヤス專門 尾張屋メリヤス店

半ゑり 腰帶 片側帶 あげ帶 しめ帶 京城旭町一丁目 ゑり治商店 電話二五六二番

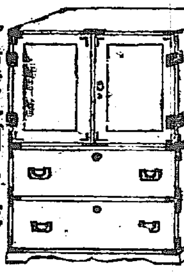
男女刺繍弟子拾五名至急募集

新刊紹介

▲實業新報(五月號) 十八錢 東京日本橋箔屋町一四其社
▲新公論(五月倍大號) 五十六錢 東京京橋加賀町一八其社
▲ツーリスト(創立五週年記念號) 非賣品 東京驛構內其社
▲千代田(四月號) 十五錢 東京神田橋本町三の五其社
▲工業生活(五月號) 十二錢 東京小石川表町一〇九大日本工業學會
▲帝國青年(五月號) 十二錢 東京麹町區內幸町一の四其社
▲大陸之青年(櫻花號) 三十錢 大連市奥町二の五〇振東社
▲國民道德(一〇三) 十三錢 東京芝琴平町三國民道德會
▲ザ、イングリツシタイムス(一一の五) 十二錢 東京芝南佐久間町一の二英語將習社
▲ザ、ユース(六の二) 十二錢 東京麹町內幸町ジヤパンタイムス社
▲珊瑚礁(五月號) 二十五錢 東京神田表猿樂町一三其社
▲科學世界(五月號) 二十五錢 東京本郷湯島四の八其社
▲名古屋商業會議所月報(三月號) 價不詳 名古屋商業會議所
▲英語講習(四の五) 十五錢 東京芝南佐久間町一の一其社
▲農業雜誌(五月號) 八錢 東京麻布本村町二一學農社
▲向上(五月號) 十五錢 東京市淺草區南元町二八修養團本部
▲ローマ字(五月號) 十二錢 東京麹町有樂町一の三其會
▲大阪銀行通信錄(四月號) 二十五錢 大阪中之島大阪銀行集會所
▲朝鮮公論(五月號) 廿五錢 京城太平町其社
▲勞働及産業 五週年大會號 (十五錢 東京芝三田四國町二友愛會本部)
▲地歷畵報(一の六) 三十八錢 東京下谷區中初音町四の四一歷會
▲兒童(創刊號) 十六錢 東京市外目黑停車場際兒童教養研究所
▲殖民世界(五月號) 二十錢 東京牛込五軒町五四其社
▲一大帝國(五月號) 十六錢 東京芝琴平町二其社
▲養鷄と園藝(五月號) 十五錢 大阪東區味原町一〇二其社
▲戰友(五月號) 七錢 東京麹町飯田町二の五二帝國在鄉軍人會本部
▲東亞之光(五月號) 二十四錢 東京小石川原町一七東亞協會
▲電氣化學(五月號) 三十錢 東京麹町有樂町一の三電氣世界社
▲爾紅(五月號) 二十四錢 東京下谷上根岸八二其社
▲農業世界(五月號) 二十二錢 東京日本橋本町三博文館
▲東方時論(五月號) 三十錢 東京牛込加賀町二の五其社

▲書籍御案內▼
一世界の變局 德富猪一郎 價二、五〇 郵税一八
一 牛 岡本米藏 價一、〇〇 郵税一〇
商工界の七十日 同 三版 價一、五〇 郵税六
修學行商日記 同 芸版 價三五 郵税六
紐育市內外の地所 同 二版 價九〇 郵税六
京城日報社代理部(振替京城三〇〇)

◉材料精撰 ◉品質高尚 ◉技工優秀 ◉堅牢無比



各種取揃へ最も勉強仕候 (御申越次第目錄進呈)
東京四ツ谷箪笥町通り 谷川支店
松本朝之助 電話番町四一四九番

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀懇切を旨とし御高需に可應候
京城日報社寫眞製版部

蠶繭高價買入 魯桑種子豫約販賣 養蠶具一式特價販賣
京城府漢江通四番地 東蠶社 長電話龍山六四一番 振替京城二二六二番

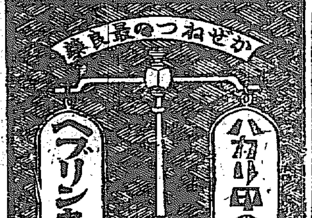
女ボーイ十名募集
十一歲以上滿十三歲迄尋常小學卒業程度の者希望者は本人來談あれ但市內に身元引受人を要す
京城南大門通三丁目 大日本麥酒會社出張所
京城本町一丁目 佐藤牧商店

特長 ◉齒を強くし ◉口中を淸潔にし ◉防腐殺菌力强大也
化學的純良なる ツバメ 齒磨(はみがき)
大阪 東京 丹平商會藥房

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱、手淫皮過房等による諸症の人は自宅で簡單秘密に新安特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如し ハガキで申込あれ圖入說明書を無代密送す來所者には醫院部にて懇切說明す 本器は博士數名の效驗卓越なる證明を有す
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京眞空療法研究所

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です ●各藥店にあり
本舖 大阪江戸堀 猪飼史郎藥房

外科一般花柳病科 內科一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
京城旭町一丁目(本通り左に入る) 島崎病院 電話二七三六番



かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし ●各藥店にあり

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二七二九番 一三九〇番

金露
攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目 賣元 前田酒店 電話一二三七番 振替口座四二二五番

質 大口歡迎 京城黃金町長橋町入 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

最新刊

書名	著者	定價
朝鮮總督府職員錄(大正六年一月現在)	總督府編	五五
鐵及銅の壓延作業法	布川四郎吉	一、五〇
工場會計	吉田良三	一、八〇
訴訟法律論文集	森作太郎	一、二〇
婦人農業問題	稻田昌植	一、五〇
婦人の爲に	岡植松太郎	一、〇〇
増補家庭醫學	永左近時	一、九五
實用新式戸板裁縫全書	戸板關子	一、九〇
北京官話實用支那語教本	本田清人	八〇
當世百道樂	堀內新泉	一、二〇
三角法模範問題解義	宮本藤吉	一、〇〇
應じ易き算術の解方	岡田升一	五五
訂正實用計算法秘傳	佐々木政吉	五〇
算術難問題の學び方解方	名和定三	五〇
解說要本法華經行者日蓮	姉崎正治	八〇
人魚の嘆き	谷崎潤一郎	九五

京城本町一丁目 大阪屋號書店

りん病 ばい毒 百圓進呈
痲病藥主藥は治痲劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定―
帝國醫科大學病院等に於て當局認定せる高等藥であることを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料として百圓進呈
▼あらゆる治療を試みるも効無き患者は一度來談あれ
にせ物あり 大阪有田 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會 他の藥店ニ販賣ヲ不許
京城 南大門外 停車場通 大阪ドラッグ商會

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 五月十五日後四時出帆
○君か代丸 五月二十日後四時出帆
○秀吉丸 五月 日後四時出帆
○神代丸 五月十七日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽(天津)、牛莊行
相模丸 五月廿三日正午出帆
高砂丸 六月三日正午出帆
三河丸 五月十二日正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 會下山丸 五月十一日午後入港 五月十三日前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客通輪各取扱ひ大連にては背局行定期船接續荷客共通し輸送す
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 田口回漕部
元山代理店 南大門(電話二六〇、一〇一七) 河村運送店 京城取次店

朝鮮郵船出帆
○江原丸 五月十三日 ○京畿丸 五月廿四日 ○黃海丸 五月廿九日 ○咸鏡丸 五月十九日 釜山發(門司より釜山各港經由雄基行)
○穩城丸 五月九日 ○昌平丸 五月 日 ○鏡城丸 五月十二日 元山發(元山より各港經由北行)
○昌平丸 五月 日 元山發
○盈德丸 五月十日 釜山發(甘浦、九龍里、浦項各港經由鬱陵島行)
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山 浦項發(長生浦方魚津寄港)
○三浦丸 五月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶運丸 毎日 釜山發
○平壤丸 五月十四日 元山發(城津、清津、雄基行)
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 五月十一日 木浦發(各港經由濟州島行西廻)
○慶興丸 五月十三日 木浦發(市多島、每列島行月三回)
○公州丸 五月十六日 木浦發(各港經由濟州島行東廻)
○麗水丸 ○香州丸 五月十四日 五月十八日 仁川發
○宗信丸 五月十五日 仁川發(海州他各港經由鎭南浦行)
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發(江華島、喬桐島、海州行)
鐵道會社及社外船と連絡運送の便あり
本社 電話長一九五二番 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

御注意
●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と船車の連絡切符發賣仕候
●御乘船客は本船出帆の約一時間前無賃送迎可致候
●×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番、五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開盤旅館 電話二六一番

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路(新洋航路を除く)は連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎關門、神戶、大阪行 ×汕頭丸 五月十五日後二時出帆 ×汕頭丸 五月廿八日後二時出帆
●群山、神戶、大阪行 須磨丸 五月十二日後五時出帆
●木浦、釜山、巖原、鄉の浦、長崎行 安東丸 五月二十一日後二時出帆 安東丸 六月七日後二時出帆
○橫濱行 ×△漳州丸 五月廿七日後二時出帆 福州丸 五月卅一日後二時出帆
●南浦、關門、神戶、大阪行 須磨丸 五月廿一日後二時出帆
●鎭南浦、大連行 安東丸 五月十五日後二時出帆 安東丸 六月二日後二時出帆
●大連直航 ×△漳州丸 五月廿二日正午出帆 福州丸 五月廿六日正午出帆
●西湖津新浦城津淸津行(元山出帆) 安平丸 五月十一日後十二時出
●淸津行(元山出帆) 宮島丸 五月十七日後十二時出
●上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 五月十八日前六時出帆 基隆丸 六月三日後四時出帆

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 ○和歌浦丸 五月 日後五時出帆 ○立神丸 五月十八日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 ○和歌浦丸 五月十七日後十時出帆 ○立神丸 五月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 ○第三琴平丸 五月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 五月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港立新町 本船取扱店 大池回漕部

商況

大阪三品特電 九日後場 四月限 二三四、九〇 二三五、〇〇

大阪正米(九日)

大阪株式特電 九日前場 前場 後場

堂島米株 東京株式 大阪株式 二四二、六〇 三三三、〇〇

▲保合小堅し 前場伸び悩みの模樣先大阪の堅らざる入電に十三圓九十七錢と寄付たるが其他より買物多く一面其他より賣向ひたるも…

▲今能く賣る 今後場…石に上りたりとの事一面小千石の賣ありたるも往目を置いたり…

▲再び十四圓臺 …

相場	
高値	十四圓一錢
安値	十三圓九十八錢
出來高	一萬五千五百五十石